

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

国語

教科用図書宮崎採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点1】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成については、「言葉の力」(学習のポイント)を手掛かりにして「見通す」「学習活動」「振り返る」と学習を進め、学びを生かして「未来への扉」で示された題材について考えることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、各領域をつなぐ教材として「学びを支える言葉の力」を設定し、各領域の学習に活用できる工夫が見られる。また、学年末教材に身に付けた「言葉の力」を使って自分や社会の課題について考える教材が設けられ、内容で身に付けた力の定着と活用を促す工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 単元の構成については、「領域別教材一覧表」で1年間に身に付ける力が視覚的に示され、「本編」で必修の学習内容を扱い、「資料編」で学習を支える資料を示すことで、必要に応じて弾力的に取り扱うことが可能となる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「読むこと」の学習において「読み方を学ぼう」を設定し、学びを広げたり、深めたりする工夫が見られる。また、「読むこと」と「書くこと」を関連付けた単元も設けられ、領域をつなげることで、内容の理解と定着を促す工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成については、「言葉の地図」で年間の学習内容と身に付けたい力を示し、「学びナビ」で単元の学習内容を確認し、「みちしるべ」に沿って学びを進めることで、見通しをもち学習に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、応用的な問題として「学びのチャレンジ」が配置され、自分の学びを確認できる工夫がなされている。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、教材末尾に学びを生活にどのように生かすことができるかを示すことで、内容の定着と活用を促す工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の構成については、「見通しをもつ」で学ぶ内容を確認し、「学びのカギ」を手掛かりに学習を進め、「言の葉ポケット」で学びを深め、「振り返る」で資質・能力の定着を図るといった工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、教材につながりをもたせ、資質・能力を活用して学びを深め、異なる領域で同じ話題を扱い、考えを深める工夫が見られる。また、教材の後に設定した「学びのカギ」を手掛かりに、「学びへの扉」に沿って、学習することで、内容の理解と定着を促す工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材で身に付けたい汎用的な言語能力のポイントを明示した「言葉の力」を基に、読み深めたり、グループで話し合ったりする学習活動を設けることで、学びを深めながら学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「学びを支える言葉の力」を系統的に設け、言葉や情報の関係、情報の整理について、各領域での学習に生かせるよう、取り立てて学習できるような工夫が見られる。また、「言葉の力」が各領域の学習につながるよう教材配列の工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各教材に明示した「言葉の力」を生かしながら思考する学習活動ができる工夫が見られる。また、資料編の「要約の仕方」、「思考のヒント」等を手掛かりにしながら表現することができる工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「思考の方法」で問いをもつことの大切さに触れるとともに、思考を手助けするチャートの一覧を示すことで、生徒が問いをもちながら思考の流れを把握し、学習活動を円滑に進めることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各教材の「語彙を豊かに」では、様々なテーマで教材と関連した語彙を取り上げることで、表現に生かせる語彙を増やし、語感を磨くため工夫が見られる。また、巻末の資料編には「語彙の広がり」を掲載し、語彙の拡充を図る工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、全ての教材において、学習の振り返りの段階で、習得した知識・技能と関連付けて「自分の考え」を形成する活動を取り入れる工夫が見られる。また、共有や交流場面を通して見方・考え方を深める工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、教材の冒頭で「学びナビ」を設定し、学習を通して身に付けたい力や学習活動の重点を明確にすることで、生徒が自分の学びを見通し、振り返るなど自覚的な学びをもって学習に臨める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、教材に「言葉・情報」の学習を設けて語彙力の向上、考えの形成に生かせる着眼点を示すとともに、「言葉の小窓」「言葉と社会」「文法の小窓」と解説編を活用して学習することで、多様な言葉と出会い、言葉への理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習のプロセスに応じた教材の手引きや言語活動を示すなどの工夫が見られる。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に「学びを生かす」項目が設けられ、汎用的な能力の育成となる工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、学習の目的と習得すべき資質・能力を明示した「学びへの扉」や学習のポイントや系統をまとめた「学びのカギ」が設けられ、生徒が見通しをもち、主体的に自らの学びを確認しながら学習に臨める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「言の葉ポケット」が設けられ、言葉の観点から学びを深め、さらには語彙力が高まる工夫が見られる。また、「語彙ブック」として別冊にまとめ、語彙の獲得や語感を磨く方法を系統的に示し、表現力の向上を促す工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻頭の「思考の地図」で思考の方法を示し、学習の際に目的に応じて使うことができる工夫が見られる。また、「情報整理や思考のレッスン」が設定され、情報整理や論理的思考の基礎・基本が学べる工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各教材に示した二次元コードに、デジタルコンテンツの内容を分かりやすく示し、生徒が必要に応じてすぐに参照できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、巻末にある「言葉の力」一覧で年間の学びを振り返ることができるとともに、「デジタルコンテンツ一覧」には「家庭学習マーク」を示し、家庭で予習や復習に活用できる工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、「学びを支える言葉の力」の中で、情報と論理の学びについて具体的に示すことで、根拠や具体例を用いた表現力を育成することができるという工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「二次元コード参照先コンテンツ一覧」において、資料の種類を分かりやすく分類し、生徒が必要に応じて活用できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「読み方を学ぼう」や「思考の方法」を一覧にし、使い方の例とともに図解で示すことで、文章の読み方や内容理解の糸口としてなど、様々な学習活動で活用できる工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、学習用語辞典のページを収録し、国語の学習活動に役立つ用語をまとめて提示することで、説得力のある文章を書く際に必要とされる豊かな語彙力を身に付けることができる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コードの「まなびリンク」において、学習に役立つ情報をウェブサイトで見られるようにする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「学びナビ」一覧において、当該学年で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力を示すことで、それぞれの単元で身に付ける力が明確になり、学習活動に活用できる工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、読むことの領域における「学びナビ」で、文章の読み方の視点を示すことで、長文の読解や文章及び資料からの正確な情報を読み取るための力を身に付ける工夫が見られる。</p>

発 行 者	概 評
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「ICT 活用のヒント」において、各領域での ICT の活用場面や参考となる資料を示し、効果的に ICT を活用できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「学びのカギ」一覧において、領域ごとに 1 年間の学習内容とそれぞれの単元での重要なポイントがまとめられており、生徒が身に付けた力を確認し、次の学習で活用できる工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、巻末の「語彙ブック」において、描写や思考等の場面における適切な表現を示すことで、説得力のある文章を書く際に必要とされる豊かな語彙力を身に付けることができる工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

書 写

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 単元の構成に関しては、「書写のかぎ」で示された学習のポイントをもとに「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で学習し、「振り返ろう」で自分の言葉で説明させることで、学びを進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、1学年の導入で小学校書写の確認をさせて円滑な接続を図るとともに、各学年の単元末に「書写テストに挑戦！」を設定し、中学校での学習内容の確実な定着を図ることができるような工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 単元の構成に関しては、各教材に「書き方を学ぼう」を設けて学習内容を習得させ、単元末の「書いて身に付けよう」において、学習内容を硬筆や日常生活に生かすことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「本編」「資料編」の2部構成としており、本編で学習内容を身に付け、資料編で生活の中で必要となる書式を確認し、伝統文化に親しむ資料に触れることを通して幅広い知識を得られるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 単元の構成に関しては、各教材が「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の4段階の学習手順となっており、毛筆教材の導入「試し書き」では、硬筆で書かせることにより毛筆と硬筆の学びをつなぐ工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、毛筆学習の成果が確実に硬筆学習へつながるよう、各単元末に「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」を設定することで、習得した書写の力を学習活動や日常生活に活用できるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 単元の構成に関しては、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階の学習過程となっており、「学びのかぎ」において学習のポイントを具体的な説明とともに視覚的に示し、学習内容を確かめながら学習できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、各学年の単元末に国語の教科書と連動した教材を設定するとともに、「コラム」の中で学校生活や日常生活に書写学習を生かすヒントや題材を取り上げることで、習得した力の活用を促すような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「生活に広げよう」では、日常生活において文字を手書きする具体的な場面を通して、書写学習で身に付けた力の生かし方について話し合う活動を設定する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を確実に習得させるために、各単元の「見つけよう」で「書写のかぎ」にある用語を使い、比較して説明したり、指でなぞって考えたりする活動を設定する工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、学年末教材の「やってみよう」での新聞や情報誌の制作において、これまでの学習を生かした作品を作り上げるためのグループ活動を設定する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を確実に習得させるために、巻末の折り込みに、解説動画付きの「書き方を学ぼう一覧」を設けて、3年間で身に付ける書写の力を全て確認することができる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「学習の進め方」の「考えよう」において、「課題を発見し、課題を解決していく学び方」や「話し合い活動をとおした学び方」を示し、自らの課題意識や話し合いの活性化を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各教材の冒頭に「試し書き」、学習末に「まとめ書き」を設定し、学習を生かして書いた文字と初めの文字を比べる学習活動を取り入れる工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、毛筆教材の「考えよう」において、自分で課題を発見したり、「コラム」において、文字に関する様々な問いを投げかけ、話し合う活動を設定したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、3年生の単元末に「三年間のまとめ」を設け、3年間の学習内容を見開きで確認し、自分の課題を確かめながら毛筆に取り組む教材を設定する工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、ページ右上に学習内容を端的に表記することで、生徒が学習内容を意識して、学習に取り組める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、説明の文言を文節で改行したり、小学校で学習していない漢字には初出箇所にはルビを付けたりすることで、全ての生徒への支援となる工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、巻末の「書写活用ブック」において、二次元コードを活用し、お礼状や依頼文の書き方等、社会生活の中で使用される様々な書式を分かりやすく学ぶことができる工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、巻末の「二次元コード一覧表」において教材名ごとにコンテンツの内容や種類が掲載され、必要な情報が一目でわかる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、学年や学習内容ごとにアイコンや色を変えたり、区切り線や囲い線を付けたりするなど、全ての生徒が見やすく学びやすいレイアウトとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、資料編において、送り状やのし袋の書き方などの資料がまとめられていたり、社会で役立つ知識や文字の歴史や文化への理解を深めたりするなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コード「まなびリンク」から学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、淡い色使いをベースにAB判で作られており、大きな紙面で作品等を見ることができ、文字や作品により注目して学習することができるという工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、イラストを利用した「書写をとおして学んでいくこと」、巻末の「書式の教室」「書写で身に付けた力を学習活動で活用しよう」で具体的な活動を視覚的に表すなどの工夫が見られる。</p>

<p>38 光 村</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、取り外して使用できる「書写ブック」により、学びを硬筆に生かすとともに、他教科の学習にも活用することができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、行書の特徴をアイコンで示したり、毛筆手本の半紙の右端に朱墨・薄墨で点画を示したりして、筆使いのポイントを視覚的に理解しやすくする工夫が見られる。</p> <p>(3) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、各学年に国語の教科書と連動できる教材を設定したり、生徒の日常から題材を取り上げたりするなど、学んだことが学校生活や日常生活に生かすことのできる工夫が見られる。</p>
---------------	--

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

社会（地理的分野）

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化され、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、地理的な見方を働かせるための「地理のミカタ」コーナー等を基に追究し、最後に「チェック&トライ」コーナーに取り組むことで学習内容の定着を図る構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、とびら・導入ページ、本時ページ、学習のまとめと表現ページになっており、見通しや振り返りの学習活動に取り組みやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料を丁寧に読みながら考察する「THINK!」コーナー等を基に追究し、最後に「確認!」「表現!」コーナーに取り組むことで学習内容を深める構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、単元の見通しのページ、毎時の学びのページ、単元の振り返りのページとなっており、単元を通した学習活動に取り組みやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され「地理プラス」等を基に追究し、最後に「確認しよう」や「説明しよう」コーナーに取り組むことで、知識の確実な習得や言語活動につながる構成・配列の工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 社会科地理的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、学習のはじめに、問いの設定、本文、まとめと振り返りのページとなっており、学習の見通しと振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、その手がかりとなる「見方・考え方」やコラム「地理+α」を基に追究し、最後に、「確認」「表現」コーナーに取り組むことで、学習内容の理解を確かめる構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身につけさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるような、生徒が問題意識をもちやすい写真や地図が単元はじめのページにあり、生徒が学習意欲を高め、課題に向き合い、生徒自ら学習を進めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるような、単元ごとに「まとめの活動」があり、単元の学習内容を振り返り、知識・技能を確実に定着させ、今後の学習に生かせるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、単元の終わりに「探究課題を解決しよう」が設定してあり、地域のこれからについて、思考・判断・表現し課題を解決する力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような、持続可能な社会に向けて考える「未来にアクセス」があり、現代社会で解決すべき諸問題と関連付けて考えさせる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるような、単元ごとに「学習のまとめと表現」があり、思考ツールを用いて、生徒が地域の諸課題を解決するための手段や工夫を考え、生徒自ら学ぶことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるような、「地理の技」が設定され、生徒に身に付けさせたい地図やグラフの扱いなど、生徒の日常生活で生かせる技能を確実に習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、「クロスロード」が設定され、学習内容を活かして、生徒が地域の課題解決に向けて思考・判断・表現できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような、巻頭ページにSDGsの説明があり、各ページに関係のカードを提示し、学習内容と社会問題の解決を関連付けて考えさせる工夫が見られる。</p>

46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるような、単元ごとに「写真で眺める」が設定され、写真や地図等の資料を見て、地域の様子をつかみ、興味・関心を高めることで生徒自ら学ぶことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるような、単元ごとに「学習を振り返ろう」のページがあり、地図を活用しながら学習内容を習得したり、思考ツールや図を活用し学習内容を習得したりする工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、「アクティブ地理」が設定され、地域の課題について、習得した知識や技能を使って実践的に考えていく学習を通して、思考力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような、巻頭のページ「よりよい社会を目指して」があり、学習全体を通して、持続可能な社会の実現を意識して生徒がよりよい未来を構想できる工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるような、各小単元に「議論してみよう」が設定され、小単元ごとに獲得した知識を生かして議論できる問いをもたせ、生徒が自ら学ぶことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるような、新旧の街並みが比較できる写真資料や、新旧の変容が分かるグラフ等が提示され、生徒が地域の変容やその経緯をつかむことができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるよう、単元ごとに「自分の考えをまとめよう」が設定してあり、既習事項を整理し、地域の課題について思考・判断・表現することができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような、「持続可能な地域をめざして」があり、よりよい社会づくりの実現に取り組もうとする態度を育成するような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 生徒にとっての分かりやすさについては、導入で印象的な写真や資料を大きく掲載し、興味・関心を高めさせたり、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習内容の見通しをもたせたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の実態及び学習効果や使用上の利便性について考慮すると、「QRコンテンツ」が各所に掲載され、動画や各種統計資料、デジタル地球儀、クイズ等のコンテンツを活用して、授業や家庭学習など、様々な場面で生徒の理解を深める工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 生徒にとっての分かりやすさについては、「LOOK」「THINK」等の見出しを設け、学習の視点を提示したり、章や節のまとめにおいて様々な種類の思考ツールを多用したりすることで、学習内容の可視化を図ったりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の実態及び学習効果や使用上の利便性について考慮すると、「まなびリンク」が各所に掲載されており、動画や各種統計資料、外部サイトへのリンク等のコンテンツを活用して生徒の興味や関心を高めるとともに、理解や習得を促す工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 生徒にとっての分かりやすさについては、大きく鮮やかな写真やイラストを多用し、興味・関心を高めさせたり章や節のまとめにおいて思考ツールを活用することで学習内容の可視化を図ったりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の実態及び学習効果や使用上の利便性について考慮すると、「QRコンテンツ」が各所に掲載されており、図解アニメーションや用語解説へのリンク等のコンテンツを活用して生徒の個別最適な学びを支援する工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 生徒にとっての分かりやすさについては、章や節ごとに単元を貫く問いについて独立したページを設けて、学習の見通しをもたせたり、ポートフォリオを活用することで思考の整理をさせやすくしたりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の実態及び学習効果や使用上の利便性について考慮すると、「教科書QRコンテンツ」が各所に掲載されており、動画や学習履歴記録シート確認小テスト等のコンテンツを活用して生徒の自学自習を支援する工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

社会（歴史的分野）

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構成され、節ごとに学習の流れを可視化し、自ら課題を解決する力を育むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き 単位時間ごとに学習課題が設定され、歴史的な見方・考え方の手がかりになる地図や写真といった資料を基に追究し、最後に「チェック&トライ」コーナーに取り組むことで1時間の学習を振り返る構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成が導入ページ、本文、特設ページ、学習のまとめと表現のページとなっており、「問い」を軸にして、課題解決的に追究し表現できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き 単位時間ごとに学習課題が設定され、深い学びのために「歴史の窓」等のコーナーで資料を基に追究し、最後に「確認!」「表現!」コーナーに取り組むことで学習内容を深める構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は単元の見通しページ、毎時の学びページ、単元(章)の振り返りページとなっており、学習の見通しと振り返りがしやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き 単位時間ごとに学習課題が設定され、資料活用アイコン等を基に追究し、最後に「確認しよう」「説明しよう」コーナーに取り組むことで、知識の確実な定着や表現力等を育成する工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は扉「日本史と世界史の帯年表」のページ、本文ページ、まとめのページとなっており、世界史を含めた歴史全体の流れをつかみやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き 単位時間ごとに学習課題が設定され、因果関係を重視した本文の記述や、豊富な発問をもとに追究し、最後に「ステップアップ」コーナーに取り組むことで、より深い学びを促す工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、学習のはじめのページ・本文ページ・まとめと振り返りのページとなっており、生徒が問いを立て、学習の見通しと振り返りがしやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、手がかりとなる「見方・考え方」コーナー等を基に追究し、最後に「確認」「表現」コーナーに取り組むことで学習内容の理解を深めるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、導入ページ、本文ページ、章末に調べ学習・復習問題・時代の特徴を考える・対話とまとめの図のページとなっており、章全体を構造的に関連付ける工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単元時間ごとに学習課題が設定され、キャラクターのセリフで示された学習のポイントを活用して追究し、最後に「チャレンジ」コーナーに取り組むことで知識の整理ができる構成・配列の工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、導入の活動ページ、本文ページ・特設ページ、学習のまとめページとなっており、課題を解決していく学習過程の流れを明確にして学びやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を助ける写真や表・グラフ・図・コラム等で追究し、最後に「確認」「探究」コーナーに取り組むことで学習内容の定着を図るような構成・配列の工夫が見られる。</p>
236 令 書	<p>(1) 社会科歴史的分野の目標を達成するために、章・節の構成は、本文ページ・特設ページ（コラム）、章のまとめページとなっており、我が国の歴史の特色や歴史の連続性をより実感しやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 縦書きで構成されており、小見出しごとに学習課題が設定され、本文の理解を助ける写真・図・コラム等で追究し、最後に「まとめ」コーナーに取り組むことで学習内容の理解を確かめるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章の導入やまとめのページで写真やイラストを使って活動例を示し、本文での学習内容の理解を確実にして、話し合い等の対話的な活動を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、紙面を導入資料→学習課題→本文→チェック＆トライの流れで構造化したり、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習内容を「思考ツール」や「ウェビングマップ」等で整理したり、グループ学習「みんなでチャレンジ」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、現代的な5つの課題における克服のための取り組みを扱い、持続可能な社会の形成や課題解決のための意識と態度を育むための工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、第1章2節から対話的な学びの進め方の例を具体的に掲載し、その後の学習においても「対話的な学び」を自ら進んで展開できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、1単位時間の最後に学習を振り返る「確認」を設けたり、適宜設けられた資料内容を読み取る「歴史の技」コーナーを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習したことを活用して表現する「表現」や各章の最後に学習を振り返る「学習のまとめと表現」ページを設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻末で既習内容を活用して、現代社会の課題について、SGDsの視点から問い・調査・考察・発表・交流する学習活動を紹介するなどの工夫が見られる。</p>

46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章の「章扉」や「タイムトラベル」を活用し、単元全体の学習の見通しを立て、学ぶことで主体的な学習を促すなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、見開き2ページが構造化された紙面構成になっていたり、「技能をみがく」では、基本的な技能を習得するための手立てがあったりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻頭「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」で、様々な思考ツールを紹介したり、それを用いる場面を多く設定したりするといった工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、最終単元では、歴史的な背景をもとに、社会参画への態度を養うための現代社会の諸問題について解決策を考える活動を行うなどの工夫が見られる。</p>
81 山 川	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、「歴史を考えよう」のコーナー、各章のまとめなどで、様々なパターンの豊富な発問を通して、生徒の主体的で対話的な学習活動を促すための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、難しい用語と同ページに用語解説のコーナーを設けたり、因果関係を説明するために関係のあるコラムを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元の学習課題、ステップアップの課題、図版に付した発問等、各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身に付けられるための工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、各時代の展開や、文化財保護の取組を理解する「地域からのアプローチ」が設けられており、歴史を学ぶ意義を考えさせるなどの工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、教科書の「編（章）の問い」や「節の問い」に対する予想や学習後の考えを記録するワークシートを設け、学びの成果や自己の成長を振り返り、学習内容を深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、1授業時間を見開き2ページとし、「何を学ぶのか」を学習課題で明確に示し、「確認・表現」コーナーで、学習を確かめるための問いを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各章末に「まとめと振り返り」を設け、時代の特色をまとめさせたり、考察する際に活用できる思考ツールを随所に設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、よりよい未来を考えるに当たって、先人の課題を解決するための取組を学ぶコラムや特設ページを設けるなどの工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、「もっと知りたい」や「人物クローズアップ」などのコラムで、生徒が興味のある歴史的事象を自らより深く学び考えられるような素材を随所に配置するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、知識の整理をするために單元ごとに「チャレンジ」というコーナーを配置し、章末に復習問題のページを配置して、基礎的・基本的な用語・知識の定着を図るなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各章の章末で時代の特徴を考えさせるページや生徒の探究を促す課題学習のページを設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「歴史用語ミニ辞典の作成」という課題等、学んだことを自分で構造化するレッスンの場を設けるなどの工夫が見られる。</p>

227 育鵬社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、各章・節・本文ページには、単元を通した問いとして「章の課題」「節の課題」「学習課題」を設け、生徒自身が日々の学習内容に見通しをもてるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、「歴史絵巻」で歴史の大きな流れを「鳥の目」で大観したり、その章で学習する絵画や写真を細かく見る「虫の目」でとらえさせたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各章末に「学習のまとめ」を設け、各時代を年表で整理し、多面的・多角的に時代像をまとめることができるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、主体的に社会の課題を追究、解決し、発展に寄与した先人の取組を資料やコラムで紹介するなどの工夫が見られる。</p>
236 令書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開することができるように、グループでの調べ学習の手順や方法、ディベートの行い方等まとめ学習における対話が広がるような学習方法の紹介をするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得できるように、巻末に解説付きの大きな写真資料を豊富に配置したり、時代ごとの各国の変遷を理解させる世界地図を掲載したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各時代の章末においてまとめを行うコーナーを設け、その中で政治・文化・外交・産業の4つの観点でまとめさせるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、我が国の光と影の両面を学ぶ中で、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養うなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、学習段階に応じて、各ページの定位置にある二次元コードから「動画」や「ワークシート」等のデジタルコンテンツを活用することができ、生徒の学びを深める工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、1単位時間の学習をページ下の「チェック&トライ」で自ら振り返り、「探究のステップ」で節ごとに問いを示すことで、各章のまとめと探究課題の解決を効率的に行える工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章の導入やまとめ、「歴史の技」に学習場面に応じた動画やクイズ等のリンクを見ることができ、生徒の関心・意欲を高め、理解や習得を促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、ページ最後の「確認」「表現」で1時間の学びを振り返り、各章の「学習のまとめと表現」において3段階構成で振り返りを行い、基礎・基本の定着を図るとともに、次章への準備を効率的に行える工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章・節の始まりや振り返りにある二次元コードから、学習内容の定着や生徒の調べ学習を支える多彩なコンテンツを活用して、生徒の個別最適な学びを支援する工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料活用アイコン等を基に追究し、最後に、「確認しよう」「説明しよう」コーナーに取り組むことで、知識の確実な定着や表現力等を育成する工夫が見られる。</p>

81 山 川	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コードから、拡大した掲載資料や動画を見ることで、各ページに設けられた発問に対する思考のヒントを与え、理解をより深められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を基に追究し、最後に「ステップアップ」コーナーに取り組むことで、より深い学びを促す工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各ページの定位置にある二次元コードから、多彩なコンテンツを見ることができるとともに、「ポートフォリオ」を系統的に配置し、生徒の個別最適な学びにつながる工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、見開き最後の「確認・表現」で、1時間の学習を振り返ることができる。編末の「まとめとふり返し」では、習得した知識の確認の後、各編・節の問いに答えることで時代の特色を考えさせる工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、見開きのページの概略的な内容をさらに深める「もっと知りたい」コラムを配置して生徒の興味・関心を高めることで、深い学びにつなげる工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、章末に「調べ学習⇒復習問題⇒時代の特徴を考える⇒対話とまとめ図」のページを設け、段階を追って時代を大観させるとともに、資料を考察し表現する力を培う工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、各章の冒頭にある二次元コードから、動画を閲覧したり、学習に役立つ情報を収集したりすることで、興味・関心をさらに高め、生徒の個別最適な学びや協働的な学びにつながる工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、見開き最後の「確認・探究」で、1時間の学習を振り返ることができる。章末の「学習のまとめ」では、様々な資料の読み取りを通して、学習内容を整理し、多面的・多角的に時代の全体像を考えさせる工夫が見られる。</p>

236 令 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文を縦書きにするとともに歴史の転換点を独自に設定したり、扉絵をイラストで表したりするなど、読書をするような楽しみを見出しながら、興味・関心を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、本文の時代の転換時には「先土器時代以前」や「平成時代」という見出しを設けている。さらに、各章末に「まとめ学習」を配置し、政治・文化・外交・産業別に時代の特色をまとめ、全体像をつかませる工夫が見られる。</p>
---------	--

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

社会（公民的分野）

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、各章ごとに「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という流れで構成され、単元を貫く探究課題を解決していく学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、現代社会の見方・考え方を働かせて「みんなでチャレンジ」等で追究をし、「チェック＆トライ」で学習内容の定着を図ることができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題を捉えて考える視点を得るページ、課題を追究するページ、捉え直し深めるページ、学習のまとめと表現ページになっており、見通し・振り返りができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、資料を読み取り考察するための「LOOK!」や「THINK!」で課題を追究し、最後に学習内容の定着・発展を図る「確認!」「表現!」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は章・節・見開きごとに問いと振り返りを設け、見開きページの問いに答えていくことで、節や章の問いを段階的に追究していくことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、対話や読解を促す資料を読み取りながら課題に答え、重要事項の確認と表現力等を育成する「確認しよう」や「説明しよう」に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、各章ごとに「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返る」という流れで構成され、「見方・考え方」を働かせて課題を追究する学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「アクティビティ」等で「見方・考え方」を働かせて学習内容の理解を深め、「確認」「表現」で学習内容の定着を図ることができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

225 自由社	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、各章ごとに本文ページ、「もっと知りたい」等の発展ページとしており、毎時間の学習内容について章末で重要語句を確認し、定着させる学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、図表や写真「ミニ知識」等の資料で課題を追究し、最後に「ここがポイント」コーナーで毎時間の学習内容の振り返りに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、各章ごとに「課題をつかむ」「課題について調べる」「課題についてまとめる・表現する」という流れで構成され、節の課題を意識して課題を追究する学習活動ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、「学習を深めよう」や「見方・考え方」などで追究し、「確認」と「探究」で言語活動や学習内容の振り返りに取り組むことができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、生徒自身が探究課題をつかめるよう、各章に「導入の活動」や個人作業とグループ活動の相互作用で多面的・多角的に学びを深める「探究課題を解決しよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識及び技能」を習得させるために、公民の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」や、重要な用語を解説した「もっと解説」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「くらげチャート」や「トゥールミン図式」等の思考ツールを活用し、自分の考えをまとめたり、表現したりするページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、持続可能な社会の実現に向けた課題を意識する巻頭ページや社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」を設けるなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入ページの「ウォーミングアップ公民」で生活体験から単元を貫く課題を捉えさせたり、「公民の技！」で知識を広げたり、グループ活動で思考を深めたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識及び技能」を習得させるために、本文内容から具体的な事例をもとに視野を広げることのできるコラム「公民の窓」や、資料の読み取りの視点を養い、社会の課題に気付くための「THINK!」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、思考ツール等で知識を整理する「HOP」や章の問いに答える「STEP」、さらに発展的な課題に答える「JUNP」を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、各章に「なぜ～だろう？」という本質的かつ発展的な問いを投げかけた上で、生活に即した課題に答える「TRY」を設定するなどの工夫が見られる。</p>

46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各部の学習のはじめにイラストで社会の様々な場面を概観する活動から学習へ興味・関心をもたせたり、二次元コードを用いて学習を発展させたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識及び技能」を習得させるために、生徒自身の生活に直結した実践的な知識及び技能を習得する「18歳への準備」やロールプレイング等の技術を習得できる、「技能をみがく」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、思考ツールや図を用いて学習の整理と確認を行う「学習を振り返ろう」や、身近な社会的課題を取り上げた「アクティブ公民」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、各章ごとに課題探究学習に向けた学習内容や事例の整理のページを設定し、学習内容と探究学習のテーマをリンクできるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、すべての本文ページに学習課題の解決に向けた「見方・考え方」が示されたり、資料を踏まえて協働的な学びを行う「学び合い」アイコンを設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識及び技能」を習得させるために、学習に関する事項について理解を深めるためのコラム「公民+α」や、章末に学習内容を確認する「まとめとふり返し」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各章のまとめにおいて様々な思考ツールを活用して、自他の考えをまとめたり深めたりする「チャレンジ公民」を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「SDGsマーク」を用いて持続可能な開発目標との関連を図ったり、「明日に向かって」でより良い社会参画を促したりするなどの工夫が見られる。</p>

225 自由社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各章において、社会事例や社会的課題に取り組んだり、学習内容を表にまとめて設定された問いに答えたりする「アクティブに深めよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識及び技能」を習得させるために、「ミニ知識」を多く設定し、既習事項を文章で表現して知識の確認をする「学習のまとめ」や、単元に関連する内容を示した「もっと知りたい」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、章末ごとに「学習の発展」で自分の考えを400字でまとめたり、巻末で論文作成やディベートをする「課題の探求」を設けたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「もっと知りたい」で社会問題などを多く取り上げたり、「やってみよう」で身近な事象と学習内容の関連を図ったりするなどの工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各章の冒頭の「どうして〇〇を学ぶの？」で学ぶ理由を理解させ、学習への意欲を高めたり、調べ学習・グループ活動を通して学びを深めたりする「TRY!」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識及び技能」を習得させるために、章末ごとに「〇〇のこれから」を設け、各章で学んだことを生かしてより深く考える資料や、KJ法やランキングシート等自分の考えをまとめる方法を身に付けるための工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、個人やグループで学びを深める「やってみよう」や本文ページと関連した内容をさらに発展的に学ぶ「学習を深めよう」を設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、巻末の「よりよい社会をめざして」で社会参画する態度を促したり、「人生をデザインしよう」で自分の将来を考察したりするなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、導入・展開・まとめの学習段階に応じた最適な「デジタルコンテンツ」(二次元コード)を活用し、動画視聴や資料の画像拡大等、学びをサポートしたり深めたりするための工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、導入からまとめまでの学習の流れが分かりやすくデザインされており、学習のまとめでは様々な思考ツールを使って自分の思考を整理するとともに、身近な課題解決につなげる工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、教科書の中にある二次元コードを読み取り、動画やクイズ等の各種コンテンツにアクセスして、役立つ情報を活用し、生徒自ら学習を深めるような学習効果を上げる工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、思考ツール等を用いて各章の学習内容を多面的・多角的に整理し、系統立てて問いに答えさせたり、課題を解決させたりして、学習内容を多面的・多角的に思考させながら実社会に生かすための工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、シミュレーション教材や、ワークシートや一問一答などの「QRコンテンツ」が各所に掲載され、関連するコンテンツを活用しながら、生徒が自ら学習内容を定着させ、深めるための工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、各章の学習内容を多面的・多角的にまとめたり、獲得した見方・考え方を用いて社会的課題に答えたりするなど、学習のつながりを意識しながら、最終的に生徒の探究学習につなげるような工夫が見られる。</p>

116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、二次元コードからアクセスできる様々なコンテンツがあり、タブレットマークを設けて「動画」「関連資料」など各コンテンツの種類が分かるように内容を示す工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、イラストなどを活用し、見通しをもって学習に取り組める単元構成であり、ニュースで取り上げられる話題や生徒にとって身近で考えやすい事例を取り上げるなどの工夫が見られる。</p>
225 自由社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、本文の近くに本文の内容を補う詳しい解説文が掲載されていたり、各単元の重要語句はゴシック(太字)で示し、すべて巻末の「さくいん」に掲載したりする工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、学習すべき内容が重要語句や「もっと知りたい」として端的にまとめられていたり、「学習の発展」で思考・判断・表現することの内容が精選されていたりして、生徒が学習に取り組みやすいような工夫が見られる。</p>
227 育鵬社	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、目次や各章の冒頭にある二次元コードを読み取り、学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報を収集したりすることができ、自学の支援や理解を深めるための工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや生徒の実態等を考慮し、生徒にとって分かりやすいという視点から、各章の冒頭において小学校の学習内容を振り返ったり、各章の学習内容と社会の実際の営みの関連性を紹介したりする等、地理と歴史の学習内容の関連や学びの系統性を意識できるような工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

社会（地図）

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では地図記号、巻末では地形図の読み取り方、方位等の活用方法が解説されており、地図帳の基本的な見方や使い方が示されている。</p> <p>(2) 社会科三分野との連携が図られるように、一般図に歴史に関連する場所を示す「歴史の舞台」が示されたり、国際社会の結び付きや対立など、現代の諸課題に関連する主題図が掲載されたりしている。</p> <p>(3) 地理的分野の学習に合わせて、世界の各州と日本の各地方に分けて地図・資料が掲載されており、授業で時間をかけて取り扱われる地域は、より多くの資料を取り上げるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では凡例、地図記号や方位、巻末では地形図について解説されており、地図帳の基本的な見方や使い方が示されている。</p> <p>(2) 社会科三分野との連携が図られるように、歴史的事象や現在の国内外における諸課題等、歴史的分野や公民的分野に関連する主題図のタイトル横に「歴」や「公」等の表示が設けられている。</p> <p>(3) 地理的分野の学習に合わせて、世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が掲載されており、地域の特色が多面的に理解できるよう多様な題材が選定されるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、資料活用のコーナー「Bee's eye」を設けて社会的事象に対する好奇心を高めるための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、世界の各州と日本の各地方のページに自然・人口・産業等の主題図を共通して掲載したり、世界と日本を比較するページを配置したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、近年の社会情勢を意識した資料の掲載をしたり、環境問題や防災の資料からその解決を考える問いを設けたりするなどの工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、問いをもたせるコーナー「地図で発見！」を設けて、地図の読み取りを深めさせるための工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、世界の各州と日本の各地方の主題図をほぼ同縮尺で提示したり、日本の各地方のページに産業の特徴を捉える統計資料を配置したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、巻頭にSDGs特設ページを設け、SDGsの視点で地図・資料を考察するページを設置するなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 生徒にとっての分かりやすさについては、前回より大判化したことで、1ページ当たりの情報量を充実させるとともに、過去と現在の地形を同じページに掲載することで、比較しながら変化を読み取れるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の実態及び、学習効果や使用上の利便性を考慮すると、学びを支える多様なデジタルコンテンツが設置されており、中でも、デジタル地球儀は、生徒が詳しく見たい場所を拡大することができ、主体的に取り組むことができる工夫が見られる。</p>
46 帝 国	<p>(1) 生徒にとっての分かりやすさについては、世界の各州において、自然環境や生活・文化・産業などをイラストで表記した鳥瞰図を掲載することで、関心を高めながら特色がより視覚的に読み取れるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の実態及び、学習効果や使用上の利便性を考慮すると、学習をサポートする「QRコンテンツ」が設置されており、学習に役立つ地図や統計、動画などの資料を活用して、生徒が問いをもちながら主体的に学習できる工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

数 学

教科用図書宮崎採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点1】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、デジタルコンテンツを活用した「クイックチェック」を通して、より短いスパンで学んだことを確認することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、算数と数学の学びをつないだり、日常生活や社会の事象に関わる問題を発見・解決したりすることで、生徒の主体的な学びを促すような構成・配列の工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、例題から練習問題へと段階的に学習に取り組むことができるだけでなく、練習問題を補充する「プラス・ワン」を通して、確かめや振り返りを行うことで、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、数学的活動を通して見いだした事柄を、その後の例題や練習問題の解決につなげていく学習過程が、各節ごとに丁寧に示されるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、授業や家庭学習で活用できる「確かめよう」や「計算力を高めよう」を通して、練習だけでなく、確かめや振り返りも行うことで、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、「章・節のとびら」を設定し、身の回りの生活や数学の学習の中から、生徒が自ら問題を発見し、考えることができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容を確認できる「学習のまとめ」から活用問題の「章の問題」へと段階的に取り組むことで、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、小・中や各学年の学習内容のつながりに配慮し、章を学習する前に既習事項を振り返ったり、学び直しをしたりする問題を設定するなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、章末に設定されている基本・応用問題に加え、学習したことを自分の言葉でまとめる振り返りの場面を設定することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、節の始めの「節とびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、数学的活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>

104 数 研	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、「Link補充」や「Linkイメージ」、練習問題等のデジタルコンテンツを各単元で豊富に活用することによって、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、各章に「ふりかえり」を設定し、学び直しを行うとともに、既習事項をまとめたページで前学年とのつながりを確認できるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 数学科の目標を達成するために、多様な問題が章末の「とりにくんでみよう」に用意されており、基本から発展まで習熟度に応じて取り組めるなどの、学習内容の習熟・定着を図る工夫が見られる。</p> <p>また、既習事項である基礎的・基本的な内容を必要な場面で確かめることができる「確かめ」で、生徒のつまずきを未然に防ぐようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「深い学びのページ」では課題解決の流れを示し、個人で思考した後、次ページで話し合う活動等を行い、学習内容を深めることができる構成にすることで、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、学習の土台となる内容をまとめた「学びのベース」を巻末に設定することで、前学年までの学習内容を振り返ったり、小・中学校の学びの縦のつながりを確認したりすることができるなどの工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、各章の「利用」の課題では、思考の段階に対応させて問題発見・問題解決の流れを示し、仲間と協力して問題解決に取り組んだり、解決の過程を振り返ったりするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、学習内容を振り返り、学習を広げたり活用したりする問題「学びにプラス」を設けることで、数学のよさを実感し、主体的に問題に取り組んだり、学びを深めたりすることができるなどの工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、節の導入段階で身近な題材から疑問を見付け、「Q u e s t i o n」では話し合う活動から目標を立て、「数学的活動のページ」では、問題を発見し答えに至るまでの過程を丁寧に示すなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、「例」の中にノート形式で、模範的な解答の書き方を示し、解答のポイントになる部分を吹き出しで補足することにより、ノート整理の基礎・基本を身に付けることができるなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「?(疑問)」から、「!(わかったこと)」を見だし、「!?(新たな疑問)」へつなげる数学的活動のサイクルを位置付けることで、一人一人の生徒が問いをもって学び合えるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、「例」と「問」の間に「たしかめ」の問題を配置することで、学習した内容を繰り返し確認するとともに、スモールステップで練習できるようにするなどの工夫が見られる。</p>

61 啓林館	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、2つの標識「学びをひろげるときに役立つ考え方」「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ、単元末では、分かったことなどをまとめる活動を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるよう、多種多様な「例」や「例題」を数多く配置し、直後にそれらを参照しながら解くことができる「問」を配置することで、生徒の学習内容の定着を促すなどの工夫が見られる。</p>
104 数 研	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「Q」や「TRY I・2・3」において、生徒と先生のキャラクターの発言から課題を別の角度で捉え、新たな疑問をもたせ、学習の内容の理解を深めようとするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるよう、デジタルコンテンツ「Link補充」で、既習内容を振り返る問題や反復問題、さらには発展的な問題を豊富に設定することで、目的に応じて生徒自らが練習問題を選択できるようにするなどの工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、問題解決型の「学び合おう」では、自分で考え、対話を通じて学び合う問題解決の過程を示し、また巻末には「ふり返しシート」「対話シート」を用意し、考える力や説明する力を高めるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、二次元コード「身につける」では、練習問題が豊富に配置されており、生徒が何度でも繰り返し問題に取り組むことができるようにするなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、キャラクターの吹き出しに「同じように考えると」や「それなら」という文言を付け、学びのつながりを意識できるようにするとともに、より細かな単位で理解を確認する「クイックチェック」を設けることで、生徒自身がつまずきを早期に発見できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のために、各章末に「活用の問題」を設定し、身に付けた知識・技能を活用して社会の事象に関わる問題を解決する学習を通して、自ら考え表現する力を高める問題に取り組めるようにするなどの工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、ウェブコンテンツを使って学習を深めることができる場面に「WEB」マークをつけ、シミュレーションや動画、資料等のコンテンツを用意するとともに、付録に各学年のまとめを掲載し、教科書から切り取って冊子として持ち運ぶことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のために、学習した内容をもとにして考えが正しいかどうかを判断する問い「判断しよう」や、数学のことばや図等を使ってまわりの人に共通点や相違点を伝え合う問い「伝えよう」を設定するなどの工夫が見られる。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、領域ごとに「ふりかえり」のページを挿入し、単元導入時にスムーズにその学年の学習に入っていけるようにするとともに、「さらなる数学へ」では、1年間の学びを生かして、日常生活や社会の中の様々な課題を考察したり解決したりできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のために、「説明する力をつけよう」という項目を設定し、相手に分かりやすく表現する力を身に付けるとともに、巻末の「表現する力を身につけよう」では、レポートの作成方法や発表のしかたを具体的に示すなどの工夫が見られる。</p>

17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、各章の終わりの章の問題を「たしかめよう」→「力をのばそう」→「学んだことを活用しよう」という構成にするとともに、デジタルコンテンツ「まなびリンク」で解決の方法や資料を示すなど、生徒の理解度に応じて学習を進めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のために、「学びのプロセス」で、思考や課題解決の流れを具体的に示し、自分で考える過程や他者に考えを伝える過程を通して、学習内容をさらに深めていく活動を数多く設けるなどの工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、単元の導入で日常の事象を取り上げたり、学習したことを生活で活用する場面を設けたりして、その節を学ぶ楽しさや意義を実感させる「学習のとびら」を設定するとともに、場面理解や話し合う活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツ等を用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のために、「説明しよう」や「話しあおう」、「まとめよう」で、数学的事象が成り立つ理由を説明したり、他者と自分の考えの違いを理解して正しい考えを伝えたりする活動を設けるなどの工夫が見られる。</p>
104 数 研	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、本文や例を丁寧に記述し要所で図解を用いることで、生徒自身で理解を深められるようにするとともに、教科書の内容を補充する問題や学んだ内容を深めるための探究問題等の5種類のデジタルコンテンツを用意し、多様な生徒に合った学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のため、生徒同士の会話の中から「方法の説明」や「理由の説明」の方法を学習したり、具体的な数で考えたりする活動を通して、伝え合う力が高まるようにする場面を豊富に設けるなどの工夫が見られる。</p>

<p>116 日 文</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、デジタルコンテンツを使うと有効な場所に二次元コードを配置し、「身につける」など分類を付記するとともに、生徒が苦手とするような間違いやすい箇所に「誤答に注意！」を表示したり、「表現の例」として分かりやすい説明を具体的に示したりするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、自分の考えを数学的に表現したり解決したりする力の育成のため、章末問題の「説明できるかな？」という問いでは、「大切な見方・考え方」で示された知識・技能を活用して、方法や理由等を式や数学の用語を用いて説明する場面を設けるなどの工夫が見られる。</p>
----------------	---

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

理 科

教科用図書宮崎採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点1】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 理科の目標を達成するために、学習の流れやポイントを「見える化」しており、単元内に設けられた「じっくり探究」により探究の過程を身に付けられるようにしている。また、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるように、各章に「Before&After」があり、学習前後の自分の考えの変容を確認できるような構成・配列等が工夫されている。
4 大日本	(1) 理科の目標を達成するために、単元の導入では、既習事項を振り返るために「これまでに学習したこと」が設けられている。また、生徒が見通しをもって学習が進められるように「これから学習すること」も設けられている。単元末では、単元内で学んだ内容を生かしながら「探究活動」に取り組むことで、更に学びが深くなるような構成・配列等が工夫されている。
11 学 図	(1) 理科の目標を達成するために、単元を通して、「探究のページ」を設けることで、学習内容を段階的に理解しやすい構成にしている。また、「学びのあしあと」では、生徒が、単元を貫いて自分の考えの変容をとらえることができ、「Can-Do List」では、生徒が学習内容の見通しをもって学習に取り組むことができるような構成・配列等が工夫されている。
17 教 出	(1) 理科の目標を達成するために、巻頭に「探究の進め方」の折り込みを設けることで、生徒が探究の過程を確認し、自らの学習を調整しながら学習できるようにしている。また、章の導入と章末において、「学習前の私」「学習後の私」をそれぞれ設け、学びの深まりや変容を生徒自身が実感できるような構成・配列等が工夫されている。
61 啓林館	(1) 理科の目標を達成するために、単元の導入において、「学びの見通し」「学ぶ前にトライ！」を設け、日常生活と知識を関連付けて考えることのできる問いを設定し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしている。また、同じ問いを、単元末に「学んだ後にリトライ！」として設け、科学的に探究できるような構成・配列等が工夫されている。

2 内容や指導の対話的充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入における「レッツ スタート！」で生徒に身近な題材を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにしている。また、「理科の見方・考え方」を設定し、見方・考え方を具体的に示し、生徒に対話を促すような工夫がされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、章末に「学んだことをチェックしよう」、単元末には「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」を設定している。これらに取り組むことで、理解できるまで学習しやすくなるような工夫がされている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「学びを生活や社会に広げよう」で、他教科との関連や、日常生活や社会と結び付けて考えることで、自分の考えを表現できる場面を設定するなどの工夫がされている。</p>
4 大日本	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、単元末に探究の場면을明確にすることで、主体的な学習を促している。また、「問題を見つけよう」や「話し合おう」などの対話を必要とする場面を設定することで、深い学びが実現できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、他学年、他教科との関連に「つながる」で触れて、既習事項とつなげている。また、「例題」で解き方の見本を示し、「章末問題」「単元末問題」に取り組むことで、基礎的・基本的な学習内容を確認できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元を通して身に付けた力を、単元末の「探究活動」において活用し、3年間を通して「探究活動」を続けることで、科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるような工夫がされている。</p>

11 学 図	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、探究の各場面で、生徒の話合いの吹き出しを提示し、思考を深めるようにしている。また、探究の手法を段階的に示すことで、生徒が主体的に問題を見だし、生徒同士が対話を通しながら探究を進めるような工夫がされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、単元を通して「探究」を準備し、「探究」を通して生徒の「知識・技能」を高めるつくりとなっている。また、単元末では、「学習のまとめ」を設定することで、生徒が身に付けるべき学習内容が理解しやすくなるような工夫がされている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「理路整然」では、「探究」で身に付けた力をもとに、新たな課題を考えたり、「探究」で行った実験の手法を振り返ったりすることで、科学的探究の手法を継続して学び、科学的な考え方の理解を深めるような工夫がされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「疑問から探究してみよう」を提示し、生徒キャラクターの会話と自分自身の考えを比較することで、課題を自分事としてとらえられるようにしている。また、課題の解決に向けて、生徒が対話的に学習を進め、深い学びを実現できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、タブレットで学習の振り返りとまとめができる「要点をチェック」や、理解度を確かめる問題を、章や節の最後の小さなまとめや、学年末の大きなまとめごとに、5段階で設定することで、学習内容を定着させるような工夫がされている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、生徒にとって書き込みやすいように実験結果を記録する欄が提示されており、さらに「私のレポート」の具体例を示すことで、それらを参考に論理的に自分の考えをまとめ、結論を導くことを促すような工夫がされている。</p>

<p>61 啓林館</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元に1つ「探Q実験」を設定し、「探Qシート」で生徒の主体的な学習を支援している。また、「探Q実験」についての「発表スライド」や「Action活用してみよう」等、発表や活動の場面を設定することで学びを深めるような工夫がされている。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、つまずきやすい内容を「例題」で解説し、練習問題や解説動画を用意することで、生徒の学習を支援している。また、とらえ違いしやすい事項は「なるほど」で正しく理解できるよう二次元コード等で情報を示すなどの工夫がされている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、これまで学んだことから生じた疑問を「みんなで探Qクラブ」で解決していく過程を通して、日常生活にある科学を意識できるようにし、探究を継続・発展させられるような工夫がされている。</p>
---------------	--

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、「見開き」時間構成となっており、授業の見通しを立てやすくしてある。また、複雑な思考をシンプルなイラスト等で掲載しており、生徒の学習意欲を喚起できる工夫がされている。</p> <p>(2) 生徒の実態等を考慮すると、日常生活における自然現象への興味・関心を高めるために、単元末コラム「社会につながる科学」や本文内コラム「まちなか科学」等で、日常生活や社会と学習内容との関連が見える工夫がされている。</p>
4 大日本	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、多様なキャラクターを用いて、多面的に考えるためのヒントが提示してある。また、実験ページに着目点が設定してあり、生徒が見通しをもって学習に取り組める工夫がされている。</p> <p>(2) 生徒の実態等を考慮すると、日常生活における自然現象への興味・関心を高めるために、日常生活と学習との関連を紹介した「くらしの中の理科」を多く掲載し、生徒が興味・関心をもって学習に取り組める工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全ページに二次元コードが設けてあり、個に応じた学びを実現している。また、章ごとに大きな写真やSDGsのアイコンが掲載してあり、学習内容と日常生活との関連を意識した工夫がされている。</p> <p>(2) 生徒の実態等を考慮すると、日常生活における自然現象への興味・関心を高めるために、学習内容と日常生活の関連を示すページで、私たちの生活が科学の知識と考え方で成り立っていることを意識しやすい工夫がされている。</p>

17 教 出	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、教科書のサイズや文字を大きくしてあり、視覚的にゆったりとした紙面になっている。また、課題と結論を赤囲みで強調してあり、課題と結論の整合性を意識した工夫がされている。</p> <p>(2) 生徒の実態等を考慮すると、日常生活における自然現象への興味・関心を高めるために、郷土の自然を調べる活動を取り上げたり、日常生活と関連する写真資料を掲載したりするなど、身近な自然を理解できる工夫がされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、ICTをどの場面でどのように使うのかが明記してある。また、章ごとの「Review」の中で、学びの過程の振り返りを意識できるような工夫がされている。</p> <p>(2) 生徒の実態等を考慮すると、日常生活における自然現象への興味・関心を高めるために、身近な生活や日本の伝統文化、国際的な問題に関係する話題等を紹介し、理科の有用性や職業への憧れ、郷土愛を感じられる工夫がされている。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

音楽（一般）

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 表現及び鑑賞の幅広い活動を体験させるために、精選された教材を適切に扱える分量で、〈題材〉〈活動のポイント〉と合わせて配列するなどの工夫がされている。特に学習 MAP では、歌唱、鑑賞、創作の領域・分野相互のつながりが示されており、学習の進め方が提示されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように、演奏家や作曲家からのメッセージを掲載したり、音楽文化と豊かに関わりながら学びを進められる内容を通して音楽と生活・社会との関わりについて考えさせたりするような工夫が見られる。</p>
27 教 芸	<p>(1) 表現及び鑑賞の幅広い活動を体験させるために、ねらいに応じて教材や学習活動を扱うことができるような工夫がされている。「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」という教科の資質・能力と各教材との関連を一目で確認することができるように、見開きのページで示す工夫が見られる。</p> <p>(2) 「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように、音楽を形づくっている要素を明確に示したり、要素の関連性を重視した表現教材と鑑賞教材の組み合わせを可能にしたりといった、何を学ぶかについて意識しながら学習できるような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「Active!」や「話し合おう」のコーナーが設けられ、自らの考えを他者と交流したり、評価したりすることで、音楽表現を工夫したり聴いたりできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、「学習MAP」ページ下にある「学習の進め方」で、「音楽を形づくっている要素」を示し、それを手がかりにした学習を進められるような工夫が見られる。また、見開き左端にそれぞれ題材を表すことで、適切な学びを進められるよう内容が工夫されている。さらに、各ページ端に、音楽に関する用語や記号などが示され、巻末の「楽典」とつなげる工夫が見られる。</p> <p>(3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、キャラクターの吹き出しによって、「思考力・判断力・表現力等」を促すための学習活動のポイントや学習内容に関連した項目を示す工夫が見られる。また、生徒が二次元コードで読み取った創作のワークシートに直接書き込み、友達と共有したり保存したりできるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、全学年にわたって「コンピューターで表現しよう」「音楽著作権について」「劇場・音楽堂へ行こう!」「日本と西洋の音楽の歩み」等の資料ページが掲載され、中学校卒業後も、音楽科の学習を基盤として、音楽に親しんでいくことができるような態度を育てる工夫が見られる。また、全学年で「唱歌」が掲載され、我が国の伝統的な音楽を身近に愛着をもって感じられる工夫が見られる。さらに、各学年の「どんな特徴があるかな」のまとめとして2・3年下の「プレゼンしよう」が設定されており、これまでの学びを振り返り、深めることのできる構成になっている。3年間の学びの成果を発表し合い、交流することによって、音楽に親しんでいく態度を養う工夫が見られる。</p>

- (1) 主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、キャラクターの吹き出しによって、生徒が課題意識をもって友達と対話し、協働しながら学習するためのヒントを多く示す工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、各教材ページ端に示された「音楽を形づくっている要素」を、表現（歌唱、創作）や鑑賞の学習活動において焦点化し、学習の支えとしながら学習できるような工夫が見られる。また、巻末の「音楽を形づくっている要素」のページでは、各要素の説明と関連する教材のページが示されている。さらに、用語や記号等の共通事項を巻末の「音楽の約束」とつなげる工夫が見られる。
- (3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「学びのコンパス」のページが設けられ、気付いたことや感じ取った雰囲気等をまとめ、意見が交流できるようになっている。また、生徒が二次元コードで読み取った創作ツールで、作品例やワークシートを再生して確認したり、繰り返し思考したりすることができるような工夫が見られる。
- (4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、学年に応じたテーマを基に、人々の生活や音楽との関連を段階的に考える資料や教材が提示され、「日本音楽入門」「社会を映し出す音楽」「ミュージカル」「ポピュラー音楽」「生活や社会の中の音や音楽」など特集ページが掲載され、自分たちとのつながりを実感できるページが掲載されている。また、日本音楽では、音を図に示すことによって、節回し等を体感しながら活動することができ、より身近に感じることでできる工夫が見られる。さらに、全学年にある「音楽の学びを振り返ろう」では、これまでの学びを振り返り、深めることのできる構成になっている。3年間の学びの成果を発表し合い、交流することによって、音楽に親しんでいく態度を養う工夫が見られる。

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは音楽界の第一線で活躍している演奏家からの音楽に対する思いや中学生へのメッセージが掲載されている。また、学習内容を視覚的に示すために、折り込みを使ったワイドな写真の掲載やイラスト、色分け等の工夫が見られる。</p> <p>(2) 資料について、歌唱では、「sing! sing!」のページで歌うための姿勢や発音などをチェックしながら確認できるように分かりやすいイラストで示す工夫がされている。鑑賞では、「Let's Try!」のページで、体験活動を通して、アジアや日本音楽の特徴や曲の仕組みについて理解を深めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、生徒自身が必要な時に適宜、二次元コードを読み取り、動画や音源を視聴しながら学習を進められるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 本地区の生徒の課題である「思考力・表現力」を育成するために、各分野・領域の冒頭に「Active!」教材が配置されており、思いや意図を踏まえた表現の工夫、楽曲に対するイメージや感情を関連付けて鑑賞する活動の進め方を具体的に示す工夫が見られる。また、「刈干切唄」や「ひえつき節」など、郷土の民謡等を扱う内容があり、ふるさとを大切にしたいという思いの醸成を図る教材を取り扱う工夫が見られる。</p>

27 教 芸

- (1) 学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは音楽をより身近なものとして捉えられるよう各界で活躍する方からの体験談や中学生へのメッセージが掲載されている。また、キャラクターの会話により学習活動のポイントを示すなど、生徒の気づきを促す工夫が見られる。
- (2) 資料について、歌唱では、全学年「My Voice!」のページで、歌うための姿勢や歌声づくりについて説明し、1年生では声の出る仕組みや変声期について理解できるよう工夫されている。鑑賞では、「日本音楽入門」や「ポピュラー音楽」等について見開きのページで詳しく掲載されており、音楽文化をより身近なものとして感じられるような工夫が見られる。
- (3) 個別最適な学びを可能にするために、二次元コードの創作ツールでは、生徒自身が作成した旋律を実際に聴くことができることから、試行錯誤しながら取り組める工夫が見られる。
- (4) 本地区の生徒の課題である「思考力・表現力」を育成するために、「学びのコンパス」のページにおいて「注目するポイント」が示されており、生徒が音楽を形づくる要素に着目し、主体的に表現活動に取り組める工夫が見られる。また、「刈干切唄」など、郷土の民謡や音楽を扱う内容があり、ふるさとを大切にしたいという思いの醸成を図る教材を取り扱う工夫が見られる。

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

音楽（器楽合奏）

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概	評
17 教 出	<p>(1) 器楽学習の充実のために、管楽器 3 種類（リコーダー・篠笛・尺八）、弦楽器 3 種類（ギター・箏・三味線）、打楽器 1 種類（太鼓）が取り扱われ、奏法ごとに配列されている。学びで身に付けたことを次の題材で生かすことができるように設定され、「深めてみよう」や「音のスケッチ」「発展」等で、器楽と創作、鑑賞を関連付けて学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽器の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、合奏の楽しさや喜びを味わえるよう、それぞれの楽器の特徴を生かしたアンサンブル曲の充実が見られる。</p>	
27 教 芸	<p>(1) 器楽学習の充実のために、管楽器 3 種類（リコーダー・篠笛・尺八）、弦楽器 3 種類（ギター・箏・三味線）、打楽器 2 種類（太鼓・その他の打楽器各種）が取り扱われ、西洋楽器、和楽器の順で配列されている。育成を目指す力の「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」と対応する題材や教材が一目で分かるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 楽器の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わり、音楽を愛好する心情を育むために、日常生活の中で触れる機会の少ない和楽器を演奏する楽しさや喜びを味わえるよう、「楽器で Melody」で、生徒になじみのある楽曲の充実が見られる。</p>	

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「話し合おう」というコーナーが設けられ、楽器の特徴を踏まえ、共通点や相違点について自分の考えをまとめ、意見が交流できるようになっており、対話を通して学びが深められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、学習に役立つ演奏や動画を試聴できる二次元コードや、焦点化した写真を示すといったユニバーサルデザインに配慮した紙面の工夫が見られる。また「Let's Play!」「Let's Try!」の中から、学校や生徒の実態に応じて楽曲を選択できるようになっており、習得した知識・技能を活用することができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「表現の仕方を調べてみよう」のページが設けられ、共通点や相違点について考えて、特徴を理解することができるよう、音楽的な見方・考え方を働かせた学習に導く内容が工夫されている。また、創作教材となる「音のスケッチ」では、学んだ楽器で旋律をつくったり、合奏したりする楽しさを味わえるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、「ストリート・ピアノ」のページで、音楽を通じて人と人との様々なつながりを生み出す取組を示し、生涯にわたって音楽への興味・関心をもち続けられるような工夫が見られる。</p>

- (1) 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、「学びのコンパス」というコーナーが設けられ、学習の進め方について分かりやすく示されている。楽器の合わせ方や重なり方について自分の考えをまとめ、意見の交流を通して対話によって学びが深められるように工夫が見られる。
- (2) 生きて働く「知識・技能」の習得のために、範奏や伴奏の音源が視聴できる二次元コード、奏法を確認できる写真等を示すといった工夫が見られる。また、細かく段階を踏んで技能習得ができるよう短い曲を設定している。「楽器でMelody」では演奏する楽器を選択して習得した知識・技能を活用することができるような工夫が見られる。
- (3) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、考えるポイントを問いかけにすることで、生徒が課題意識をもち学習活動に取り組めるような工夫が見られる。また、創作教材である「My Melody」においては、学んだ楽器で旋律をつくり、表現する楽しさを味わえるような工夫が見られる。「アンサンブル」のページでは、様々なジャンルの楽曲が示されており、多様な表現力を育てられるような工夫が見られる。
- (4) 「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指すために、巻頭ページにおいて音楽コラムを掲載し、音楽への興味・関心や、様々な楽器を学び演奏することへの意欲を高めるような工夫が見られる。

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
17 教 出	<p>(1) 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは、和楽器と世界の楽器の名手たちによる演奏写真が比較できるように掲載することで、楽器の種類を確認することができ、意欲を高めさせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 資料については、各楽器の演奏の仕方や姿勢が写真やイラストを用いて分かりやすく掲載されている。特に、太鼓については4ページを使用し、演奏例や種類等が示されている。また、「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」のページで、世界の楽器を種類ごとに示す工夫が見られる。</p> <p>(3) 個別最適な学びを可能にするために、教材に関連した学習に役立つ動画や音源を二次元コードの読み取りで視聴できるように工夫されている。また、巻末ページでは、いろいろな音楽用語や音楽記号、楽器の運指表やコード表等がまとめてあり、学びの振り返りや定着が図れるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 本地区の生徒の課題である「思考力・表現力」を育成するために、各楽曲に学びのねらいとともに、生徒が主体的に考え、創意工夫して表現するためのポイントを具体的に示すなどの工夫が見られる。</p>

27 教 芸

- (1) 生徒の学習への興味・関心を高めるために、巻頭ページでは、一流の演奏家の言葉と写真が掲載され、楽器の演奏をするようになったきっかけと情熱を知ること、音楽活動の楽しさをイメージし、好奇心に働きかけるような内容を取り上げている。
- (2) 資料については、写真やイラストにおいて各楽器の演奏の仕方や姿勢が一目でわかるように掲載されている。また、二次元コードに読み込める動画や資料が明記されており、活用しやすくなるよう工夫されている。特に、様々な打楽器の奏法を動画で確認できるような工夫が見られる。
- (3) 個別最適な学びを可能にするために、二次元コードの読み取りで学習に役立つ動画や音源を視聴できるように工夫されている。また、巻末ページには、いろいろな音楽用語や音楽記号、楽器の運指表やコード表、楽器の図鑑等がまとめてあり、学びの振り返りや定着が図れるよう工夫されている。
- (4) 本地区の生徒の課題である「思考力・表現力」を育成するために、「アンサンブルセミナー」のページで、生徒が主体的に考え、創意工夫して表現するためのポイントを具体的に示す工夫が見られる。

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

美術

教科用図書宮崎採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点1】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、学習の参考となるページや関連付けて学習できるページを示すとともに、二次元コードによる映像資料等を設定し、主体的に学習に取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、生徒作品や制作過程の解説や造形的な視点を広げる鑑賞を取り入れ、生徒の発想や構想につなげることを意識した構成になっている。</p> <p>(3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、美術館での鑑賞方法や展覧会の企画について学んだり、美術史から作品を読み解くなど学年の段階に応じて学んだ内容が深められたりするように構成されている。</p>
38 光 村	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、生徒が表現の意図と工夫を考えやすいように、掲載作品の制作過程が順に示されており、美術科の学習を通して発想や構想をする力が育まれるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習を支える資料の解説ページを設け、生徒が造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫することができる構成になっている。</p> <p>(3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、見開きの特設や和紙の質感のあるページの設定によって、生活や社会の中の美術や美術文化のよさと美しさを視覚的にも触覚的にも体感できるように構成されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、表紙や巻頭の見開きページの作品から題材につなげていくことで美術の学びのつながりを意識させるとともに、各学年の発達の特徴に即した題材の構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習を支える資料の解説ページを設け、吹き出し等を用いて、表現に必要な発想や構想の手立てが具体的に配列された構成になっている。</p> <p>(3) 感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を育てるために、美術家以外の著名人（シンガーソングライターやタレント等）の言葉を掲載し、社会の中で美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力が育まれるように構成されている。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 鑑賞と表現活動で相互に活用できるよう、題材に応じて、キャラクターを生かし、具体的な学習のポイント、気付きや思い付きのヒントが示されているなど、主体的・対話的で深い学びを展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材の学習で、必要な知識・技能が「美術の用語」や図版で提示されている。各巻末の「学びの資料」に横断的に活用できる知識・技能が系統的に示され、生きて働く知識及び技能を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考をより造形的に捉えるため、掲載作品に「作者のこトば」やアイデアスケッチ等が掲載されている。また、各巻末の「学びの資料」には、発想・構想及び鑑賞の参考となる内容が提示されており、思考力、判断力、表現力等を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、二次元コードの活用によって授業の各段階の活動が支援できるようになっている。各巻頭で美術を学ぶ意味について考えさせ、巻末で学習を振り返ることができる構成等、学びに向かう力、人間性等を育成できるような工夫が見られる。</p>

<p>38 光 村</p>	<p>(1) 鑑賞と表現活動の相互が効果的に活用できるよう、生徒の思考を促す問いかけを明記するとともに、制作過程が見える「みんなの工夫」を掲載するなど、主体的・対話的で深い学びを展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材の学習で、知識・技能の内容が別冊（美術Ⅰ資料）にまとめられている。また、技法や制作過程の動画を該当するページに二次元コードで示し、生きて働く知識及び技能を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考をより造形的に捉えるため、多くの生徒作品や制作過程を掲載しており、生徒が自分事として意識できる配置がなされている。また、「作者の言葉」やアイデアスケッチなどから生徒の価値観など、思考力、判断力、表現力等を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、表現と鑑賞の活動が見出して示され、学びの流れを明確にしている。親しみやすい作品の選定や鑑賞に対する問いかけも設定されており、生徒が意欲をもって主体的に学習に取り組み、学びに向かう力、人間性等を育成できるような工夫が見られる。</p>
<p>116 日 文</p>	<p>(1) 鑑賞と表現活動で相互に活用できるよう、授業の活動を紹介する画像が用いられ、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができる視点など、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材の学習で、必要な知識・技能が習得できるよう、各巻末に材料や用具の取扱いについてのまとめがある。また、題材導入時に二次元コードを配置し、生きて働く知識及び技能を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考をより造形的に捉えるため、完成作品や写真、アイデアスケッチを用い、発想・構想が、鑑賞と表現の双方向から取り組める工夫がなされている。また、「作者の言葉」を掲載して発想・構想を広げ深め、思考力、判断力、表現力等を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習に取り組むために、各巻で題材の見方や使い方を説明している。学習の内容ごとに目標やねらいを分かりやすく示し、これからの生活や生き方につながるような言葉や話が紹介されているなど、学びに向かう力、人間性等を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概評
9 開隆堂	<p>(1) 表紙は、立体・絵画の代表作品が掲載されており、生徒が触覚から関心を高められるような特殊加工を施し、教科への興味・関心をもたせる工夫がされている。巻頭には、これまでの学習が今後の学びとどうつながるかを振り返るため、生徒の学習の目的や意義を確認するための問いや解説があり、思考に応じた吹出しによって表現され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びの資料」を設け、表現や鑑賞の参考となる資料に加え、「著作権を知ろう」や「持続可能な未来へ」についてスポットを当てて集約されるなど、3年間を通し、2分冊の構成で学びの支援が図られている。</p> <p>(2) 各題材ページでは、題材のねらいや内容が直接的で伝わりやすい表現になっており、それぞれの活動でどのような資質や能力を身に付けられるか、「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の小見出しで示されている。また、生徒の活動する映像写真や生徒作品の写真などが大きく掲載されており、作品への興味関心を高め、発想・構想、表現方法への手がかりとなるなど、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。</p> <p>(3) 本地区生徒の実態を考慮すると、彫刻刀の使い方や電動糸のこぎりの動画、美術館や博物館の活用について学びの資料を提供するページがあり、事故防止について具体的に学んだり、生徒が主体的に美術館等を活用したりできるような工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 表紙は、西洋・日本の代表作品が掲載され、裏面のバーコード表現に関連したイラストが描かれているなど、教科への興味関心をもたせる工夫がされている。巻頭には、2巻ともに「うつくしい！」という詩で、美術と身近な生活や社会とのつながりに気付かせ、さらに、教科書を活用する手立てとして、各題材ページの見方の解説を示し、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、別冊及び巻末で、描くこと、つくることにおける材料・用具の使い方や表現方法、写真、映像、発想・構想、形・色・光、色について集約されており、3年間を通し、2分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。</p> <p>(2) 各題材ページでは、導入段階で表現につながる鑑賞作品の掲載や言葉によって対話が生まれるような問いが示され、表現段階で作者の思いが伝わる吹き出しや制作過程が、画像や二次元コードによって分かりやすく解説されている。また、題材の随所に他教科とのつながりの理解を図るコラムが設けられ、題材のまとめとして関連した作品の鑑賞ができる構成となっているなど、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。</p> <p>(3) 本地区生徒の実態を考慮すると、のこぎりの動画や小刀、電動系のこぎりの使い方、全国の美術館や芸術祭に関する情報、鑑賞の手立てが掲載されており、事故防止について具体的に学び、生徒が主体的に美術館等を活用できるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 表紙は、西洋・日本・現代美術の代表作品が、裏表紙にわたって掲載されており、オリエンテーションの鑑賞教材としても活用できるなど教科への興味・関心をもたせる工夫がされている。また、学びの目標を定位置に配置し、3年間の発達の段階に合わせて系統立てられた学年ならではの題材が工夫され、生徒の主体性を高める工夫がされている。補助資料としては、巻末に「学びを支える資料」を設け、各学年のねらいに関連した知識及び技能の習得に加え、「多様性と共同制作」「社会と関わる美術」についてスポットを当てて集約されるなど、3年間を通して、3分冊構成の教科書で学びの支援が図られている。</p> <p>(2) 各題材ページでは、表現と鑑賞の一体化を意識した構成になっており、導入段階で活動や目的をイメージさせるような題材名や各題材の導入につながる二次元コード、鑑賞の見方や考え方に気付かせるような問いかけが示され、表現段階で表現のヒントや造形的な視点としての問いかけが示されるなど、授業の流れを考えやすく、生徒に考えさせる工夫で多様な展開も期待でき、学習効果や使用上の利便性を高める工夫が見られる。</p> <p>(3) 本地区生徒の実態を考慮すると、小刀やのこぎり、電動系のこ盤の使い方、美術館の機能や役割への理解を深めるための全国の美術館へのリンク先があり、事故防止について具体的に学び、生徒が主体的に美術館等を活用できるような工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

保健体育

教科用図書宮崎採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点1】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「保健編」の2つの章と「体育編」の1つの章でまとめてあり、特に学習内容と関わりある時期に学ぶことができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列に関しては、1単位時間の流れとして「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、さらに「巻末スキルブック」を設け、実生活で活用できるような工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育編」の1つの章と「保健編」の2つの章でまとめてあり、多くの口絵を設けることで、生徒の興味・関心を高める効果的な構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列に関しては、小単元ごとに、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の3段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、章末には「学びを活かそう」で身近な日常生活に活用を促すような工夫が見られる。</p>
50 大修館	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育理論」の1つの章と「保健」の2つの章でまとめてあり、さらに、3年間における各学年の保健の学習時間が均等になるような構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列に関しては、小単元ごとに「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、各章末には「章のまとめ」を設け、評価の3観点による内容の理解や定着、活用を促すような工夫が見られる。</p>

224 学 研	<p>(1) 保健体育科の目標を達成するために、学年ごとに「体育編」の1つの章と「保健編」の2つの章でまとめてあり、学年毎に学習したことを振り返ることができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列に関しては、小单元ごとに「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」の3段階での学習過程とされており、生徒が見通しをもって学習を進められ、「探究しようよ」で課題解決学習を取り入れ、より深まった学びにつながるような工夫が見られる。</p>
---------	---

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、単元冒頭にある「見つける」では、日常経験や既習事項を基に課題を捉えさせることで、主体的に解決に取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「課題の解決」では、段階的な発問を設け、資料や二次元コードを基に確認することや考えること、話し合う活動を通して理解を深められる工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、小单元ごとに「活用する」「広げる」を設定し、学習を通して習得した知識・技能を活用し、再考するなどの実践力を育む工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「つかもう」「やってみよう」又は「話し合ってみよう」「活用してみよう」の3段階の流れで学習を進められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、本文と資料を分けて掲載している。また、大单元ごとに「学習のまとめ」で重要な言葉を掲載しており、二次元コードを設けて学びの定着を図る工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、章ごとに「学びを活かそう」を設定し、習得した知識・技能を活用して日常生活に活かせる実践力を育む工夫が見られる。</p>

50 大修館	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、単元冒頭にある「課題をつかむ」では、学習課題につながる気付きを促す導入活動を提示し、興味・関心をもたせ、課題の解決に取り組む工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、覚えておきたい重要語句を「キーワード」として明示し、毎時間の学習の最後に、学びの定着を図る二次元コードを設けることで理解を深める工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、小单元ごとに「学習のまとめ」を設定し、自己の生活を見直し、自己の課題を修正できる実践力を育む工夫が見られる。</p>
224 学 研	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、単元冒頭にある「ウォームアップ」では、学習の課題に気付かせ、課題解決の場面において「エクササイズ」を活用し、より深く考えさせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各单元に関連する「章デジ」を設定し、二次元コードを活用することで、理解が深まるよう促し、身近な日常生活に生かせるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、小单元ごとに「学びを生かす」を設定し、学んだことを活用し、今後の生活に生かすための実践力を育む工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、各ページの左側に本文、右側に資料となっており、本文の内容に関する資料をすぐに確認できるなど、視線に配慮し、知識を確認するための資料の活用がしやすい工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、「章末資料」「巻末スキルブック」で実生活につながる内容が組み込まれているとともに、読みやすい文字の大きさや行間に配慮し、多彩なデジタルコンテンツを必要に応じて活用できる等、使いやすく分かりやすい工夫が見られる。</p>
4 大日本	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、本文を左ページ、本文に対応した資料を右ページに区切って掲載することで、本文を裏付け、知識を深める活動や資料から考察・推察する活動など幅広い授業を展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、「章末資料」「学びを活かそう」で実生活につながる内容が組み込まれているとともに、生徒にとっての分かりやすさについては、はっきりとした色使いや統一したレイアウト、折り込み資料の採用等、使いやすく分かりやすい工夫が見られる。</p>
50 大修館	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、学習の流れに沿って学習内容と関連する4種類のデジタルコンテンツを掲載することで、目的に応じて効果的にICTを活用して学習を進めていくことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、「特集資料」「章のまとめ」で実生活につながる内容が組み込まれているとともに、本文が中央に配置されるようイラストや写真の配置、資料を囲む線のデザイン等、使いやすく分かりやすい工夫が見られる。</p>

224 学 研	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、視覚的にゆったりとした紙面になっており、大きな判型の資料を掲載することで認識しやすく、本文の内容を資料から読み取りやすいなど学びやすさを高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、「探究しようよ!」「章のまとめ」で実生活につながる内容が組み込まれているとともに、本文にユニバーサルデザインフォントを採用し、イラスト等の配色を淡い色に統一することで、使いやすく分かりやすい工夫が見られる。</p>
---------	---

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

技 術

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 技術分野の目標を達成するために、内容ごとに「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方をマンガと連動した「最適化の窓」で気付かせるなどの工夫が見られる。
6 教 図	(1) 技術分野の目標を達成するために、内容ごとに「技術を見つめよう」「技術をいかそう」「未来をつくろう」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を異なる立場の視点から問題解決を図る中で気付かせるなどの工夫が見られる。
9 開隆堂	(1) 技術科の目標を達成するために、生活や社会の中にある技術に気付かせながら基礎・基本を習得させ、「問題解決→実習例→学習のまとめ」という一連の流れの中で学習を進めることができるようにし、技術の見方・考え方を身近な製品の特徴から気付かせるなどの工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるためにどんな工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 「知識・技能」を習得するために、作業の手順、植物の育成方法、工具の使用法等を写真や動画にまとめ、「やってみよう」で知識・技能の習得を確認する工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、最初に5段階の問題解決学習の流れを詳しく説明し、製作の例を3つ提示してある。また、「未来の Technology」のワークシートのページで協働学習をしやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学びに向かう力・人間性等の涵養を図るために、「技術の匠」のページにおいて最先端の仕事を紹介することで、興味・関心を高め、将来の職業の選択や生き方との関わりについて考えることができるような工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 「知識・技能」を習得するために、作業の手順、植物の育成方法、工具の使用法等を写真や動画にまとめ、「ふり返る」で知識・技能の習得を確認する工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、問題解決学習の流れを4コマ漫画でまとめてあり、製作例を2つ提示してある。また、「未来をつくろう」で技術のプラス面、マイナス面を示し協働学習をしやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学びに向かう力・人間性等の涵養を図るために、「技ビト」のページにおいて伝統・技能を紹介することで、興味・関心を高め、将来の職業の選択や生き方との関わりについて考えることができるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 「知識・技能」を習得するために、作業の手順、植物の育成方法、工具の使用法等を写真や動画にまとめ、「CHECK」で知識・技能の習得を確認する工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、最初に4段階の問題解決学習の流れを説明し、製作の例を数多く提示してある。また、「やってみよう」の発問で協働学習をしやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学びに向かう力・人間性等の涵養を図るために、「Interview」のページにおいて仕事の特徴ややりがいを紹介することで、興味・関心を高め、職業の選択や生き方との関わりについて考えることができるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、「TECH Lab」や「技術のとびら」のコーナーで単元での製作技能や学習の資料がまとめられ、振り返りに役立っていたり、実習に必要な製作技能の動画コンテンツを充実させたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等と照らし合わせると、生活や社会における事象を技術との関わりの視点で考えるため、「Society5.0のその先へ」として暮らしや農業、防災など、今ある技術を工夫し試行錯誤しながら問題解決に取り組める工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、実習に必要な技能を各自で振り返ることができるよう別冊「スキルアシスト」を作成したり、各単元の問題解決学習導入ではイラストを活用して学習の流れをつかみやすくしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等と照らし合わせると、加工と技術の習得や経験を豊かにするため、プログラミングやロボットの設計など、製作実例を多く提示しており、生徒それぞれの技能のレベルに応じた設計や製作ができるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味・関心を高めるために、各分野終末の「学習のまとめ」では学習内容の振り返りに役立っていたり、「Interview」では各分野で働くプロの仕事内容や働く目的など、キャリア教育の観点も盛り込まれたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態等と照らし合わせると、生活や社会における事象を技術との関わりの視点で考えるため、「トレードオフ」の項目では製作計画に環境保全と経済性に学んだ技術を加えて最適解を求めていくことができるような工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

家 庭

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 家庭分野の目標を達成するために、「未来につながる家庭分野」「食生活」「衣生活」「住生活」「消費生活と環境」「私たちの成長と家族・地域」「生活の課題と実践」の順に自立から共生へと流れを展開することで、家庭分野の学びと実生活がリンクし、学びが深まるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 構成・配列については、巻頭のⅠ編Ⅰ章の「家庭分野のガイダンス」において、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることの必要性について、具体例を示して意識できるようにし、各編の導入の見開きページでも再確認できるなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする力を育むことのできる工夫が見られる。</p>
6 教 図	<p>(1) 家庭分野の目標を達成するために、知識及び技能を身に付けさせる「見つめる」「学ぶ」「ふり返る」や、思考力・判断力・表現力等を養う「考えてみよう」等のワーク、「学びを生かそう」を繰り返す課題解決的な学習を通して、生活の課題を解決し、学びが定着するような工夫が見られる。</p> <p>(2) 構成・配列については、章の初めて、自分の生活を見つめながら、「自立度チェック」で自分の状況を確認し、章の終わりの「学びを生かそう」で、今後取り組みたいことを考えさせることで、章での学びとこれからの暮らしをつなぎ、社会の一員として協働して生きる力を身に付けることのできる工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 家庭分野の目標を達成するために、自分の生活を、生涯の見通しをもって見つめること、自分と家庭生活を、地域・社会との関連で見つめることができるよう、全体を俯瞰した多様な視点から学習を捉えさせることで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 構成・配列については、導入から振り返りまでを、現実の等身大の中学生と重なるエピソードや、学習者の思考を揺さぶる問いを随所に盛り込むことで、より自分事として問題を見付けたり、解決に努めたりして、よりよい生活の実現に向け、自ら考え判断していけるような力を身に付けることのできる工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、「考えてみよう」「やってみよう」等の「活動例」を多く取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討して、発展させるためのヒントを設けたりするなど、対話的に学ぶ工夫が見られる。また、チャートやウェビング、グルーピング等の思考ツールを活用して、個人思考や集団思考を効果的に整理し、まとめていくことで深い学びに向かうよう工夫されている。</p> <p>(2) 生活の自立に必要な知識及び技能を習得させるために、「学習のまとめ」では、知識及び技能の振り返りの内容を設けたり、「いつも確かめよう」には基礎的な技能をまとめ、家庭でも実践しやすい難易度の低い「実習例」も取り上げたりするなど、デジタル補助教材と合わせて繰り返し知識及び技能の定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、学習のまとまりごとの「まとめよう」や、各編末の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設け、生徒が学習したことを、自分自身の課題を解決する力を養い、生活に生かせるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、随所にある「プロに聞く」や、巻末にある「学んだことを社会に生かす」で、将来を見据えた職業観、勤労観を育成するためのキャリア教育につながる工夫が見られる。</p>

6 教 図

- (1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、「話し合ってみよう」「調べてみよう」等、身近な話題をもとに、多数掲載されたワークを活用し実践的・体験的な活動を通して主体的に学ぶ工夫が見られる。また、全ての内容を問題解決的な学習の流れで進めることができ、課題の解決から新たな課題の発見につなぐ繰り返しの学びによって、生活を工夫し創造する力が身に付く、深い学びになるよう工夫されている。
- (2) 生活の自立に必要な知識及び技能を習得させるために、重要語句の強調表記や編ごとのキーワード提示するとともに、コンテンツを活用しながら実感を伴った学習ができるようにしている。また、実習題材では「私のアレンジ」を紹介し、自分なりの家庭実践につなぐ意欲をもたせることで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。
- (3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成し成するために、各編末に「学びを生かそう」を設定し、学びの中から問題を発見し、課題を設定して解決できるように学習の例を複数示し、記録レポートを活用しながら、思考し表現できるような工夫が見られる。
- (4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「センパイに聞こう」で、家庭分野の学びの先にある自分の未来を描き、実現のために生活をよりよくしようとする態度を育成するためのキャリア教育につながる工夫が見られる。

<p>9 開隆堂</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、学習のまとまりごとに見通しがもてる目標を設定し、生活の中から課題を見付けて「何を学ぶか」を明確にし、主体的に取り組める工夫が見られる。また、生徒同士で対話や意見交換しやすいような身近な話題を学習活動に多く取り入れ、対話的な学習を進めながら自らの考えを広げ、「発展」のページも活用して学習を深められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 生活の自立に必要な知識及び技能を習得させるために、内容を厳選して的確に記述し、調理実習では「調理方法 Q&A」を取り上げ、科学的根拠に基づいた理解を深めることができるように工夫されている。さらに、「生活の課題と実践」を巻末に項目を立て、学習で習得した知識及び技能を実生活で活用しながら定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、自分事として捉えた課題をもとに学習を進め、編末の「学習のまとめ」では、記述を含む振り返りの問題を設定し、自らの考えをまとめ、表現する力を付けることができるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるように、「先輩からのエール」で、生活が様々な職業・人によって成り立っていることを理解し、将来の進路選択に生かす態度を育成するためのキャリア教育につながる工夫が見られる。</p>
--------------	---

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、編の初めのダイナミックな写真や折り込みページを用いて視覚的な効果で学習を進めることができるように工夫されている。また、動画やシミュレーション、ワークシート等、教科書と連動して利用できる多種多様なQRコンテンツがWebページから無料配信され、授業だけでなく家庭でも活用できるようになっており、学習を主体的に進められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、学習案内のキャラクターや中学生の意見に共感するキャラクター、見方・考え方のヒントを出すキャラクターによって、生徒が学習を身近に感じながら意欲的に取り組むよう工夫されている。</p> <p>(3) 本地区の生徒の課題である「技能面の個人差」に対応するために、多種多様なQRコンテンツや「いつも確かめよう」で、自分のペースに合わせて確認ができるような工夫が見られる。また、地域の願いや思いを考慮し、「防災」「消費生活」への実践力を高めるために、巻末資料として「災害に備える」を付けたり、関連する学習には「防災マーク」「消費者マーク」を付けたりして様々な場面で防災や消費生活と結び付けて考えられるような工夫が見られる。</p>

<p>6 教 図</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、文字と資料のバランスを考え、本文に沿って必要な図表や写真が適切に配置され、学びを助ける効果的なイラストも多く示され理解しやすい工夫がされている。また、予習や復習に活用したり体験的な学びをサポートしたりする二次元コードのコンテンツには全てタイトルが付いているので活用しやすく、学習を主体的に進められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、各学習の「見つめる」段階で、登場人物が日常生活の会話のようなせりふを言う一コマ漫画を配置して問題提起をすることで、生徒一人一人が学習に関心をもてるよう工夫されている。</p> <p>(3) 本地区の生徒の課題である「技能面の個人差」に対応するために、実習や製作の基礎を写真や図での説明や二次元コードを読み取ることで主体的に学び、技能の定着が図れるような工夫が見られる。また、地域の願いや思いを考慮し、「防災」「消費生活」への実践力を高めるために、各章の学習の多くに「防災」「消費者」のマークを付け、各章の学習内容との関連付けを行うことで防災や消費生活に対する意識が高まるような工夫が見られる。</p>
<p>9 開隆堂</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、技能面の写真が詳細で分かりやすく表現され、細部については拡大写真やイラストを添えたり、目には見えない栄養素等も科学的に可視化したりすることによって、見方・考え方を広げながら理解が深まるような工夫が見られる。また、学習内容にQRマークを付けることで豊富なコンテンツから、取捨選択して主体的に活用できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、学習者である中学生の等身大のキャラクターに本音を言わせることで、疑問やヒントを投げかけ、生徒が共感したり自分自身を再度見つめたりして学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>(3) 本地区の生徒の課題である「技能面の個人差」に対応するために、製作の基礎・基本を、写真での説明に加えQRマークを読み取ることで、いつでも動画で確認できるような工夫が見られる。また、地域の願いや思いを考慮し、「防災」「消費生活」への実践力を高めるために、随所に「防災マーク」「消費・環境マーク」を付けたり、住生活では、「わたしたちの防災～防災があたりまえの生活に～」として詳細な資料を示したりすることで意識が高まるような工夫が見られる。</p>

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

英 語

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Unitを「扉」「Part」「Read and Think」「Unit Activity」等で構成し、複数の単元のまとめである「Stage Activity」に向けてスモールステップで積み上げながらゴールにつなぐ工夫がされている。</p> <p>(2) 各単元の「扉」にある「GOAL」で単元を貫く問いを明確にすることで題材への興味を高め、単元末の「Unit Activity」では、各パートの「Activity」で用いた表現を生かして、目的・場面・状況を意識した言語活動に取り組むことができるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Programを「とびら」「Scenes」「Tuning in」「Part」「Review & Retell」「Action」で構成し、単元を通して新出表現を繰り返し取り扱うことで確実な基礎・基本の定着ができる工夫がされている。</p> <p>(2) 各単元の「Scenes」では、マンガ形式や朱書きで新出表現が導入されており、また巻末のCAN-DOリストと「とびら」にある新出表現がリンクしていることで、生徒が1年間を通して身に付ける表現を確認できるような工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Lessonが「とびら」「Scene」「Goal Activity」で構成され、「Scene」で学習した内容が「Goal Activity」で活用できる。また「Project」で統合的、段階的に言語活動に取り組む構成が工夫されている。</p> <p>(2) 各単元にある「とびら」で題材やテーマへの興味・関心を高め、「Goal Activity」を設定することで学習の見通しが立てやすい工夫をしている。「small talk Plus」では、即興で話す活動を通して表現力を高めるような工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Lessonを「扉」「Part」「Task」「Grammar」「Tips」で構成している。特に「Tips」では具体的な場面での活用を想定したコツが提示され、実生活において生きて使える英語の能力を伸ばす工夫がされている。</p> <p>(2) 複数単元ごとにある「Activities Plus」では、即興で話す力を身に付けさせる工夫、「Project」では、ペアやグループで協働しながら4技能を使って発信する活動に取り組むことにより、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Unitを「扉」「Part」「Goal」で構成し、繰り返し英語を使いながら「読む」「聞く」「書く」「話す（やり取り、発表）」の5領域における知識・技能の習得を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) Unitの学習と並行した帯教材「Story Retelling」や「Let's talk」等により、即興で話す力や語彙力を高めたり、「Goal」ではUnit内のPartの学習を生かし、登場人物になりきり発信することで表現力を高めたりするような工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 外国語科の目標を達成するために、各Unitを「とびら」「Part」「Read / Listen & Think」「Think & Speak / Write」等で構成し、題材や言語材料に合わせた領域、技能の設定により、場面に応じた英語力を育成する工夫が見られる。</p> <p>(2) 「Let's シリーズ」では、各領域の活動がバランスよく設定され、実生活に即したコミュニケーション能力を高めたり、必要な情報、概要、要点を捉えるための、まとまりのある英文に触れさせたりするような工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「単元を貫く問い」である「Unit Question」を設定し、パートごとのスモールステップとして設定している「Activity」と「Unit Activity」に取り組むことで、単元を通して思考を深めていくといった工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く知識及び技能を習得させるために、「Unit」の活動目標が明確に示してあり、学習する前にPreviewを聞くことで、目的・場面・状況を想起しやすくしている。「Read and Think」ではまとまった文を読み、自分の考えを表現することができるといった工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、Unit後の「Stage Activity」においては、目的・場面・状況を明確に設定し、ペアやグループで伝え合う言語活動を設定しやすい工夫が見られる。</p>
9 開隆堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、Scenesと本文の場面設定が統一され、かつ同じ言語材料を扱うことで使用場面が明確になっている。また各Programにおいて様々な言語活動で活用した表現を「Our Project」で統合的・発展的に活用する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く知識及び技能を習得させるために、「Scenes」ごとに日本語のタイトルが付けられており、新出表現を用いた対話の内容理解がしやすくなっている。単元末の「Review & Retell」では、自分の言葉で表現する機会を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、Program後の「Our project」で、思考を整理するツールを用いて情報を整理し、言語活動につなげていく学習過程を段階的に設定するという工夫が見られる。</p>

<p>15 三省堂</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「Small Talk」「Listen and Read」「Think about Yourself」等の言語活動が豊富に設定されている。また、対話のきっかけや理解の助けになるように写真や図、表などの資料が多く用いられるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く知識及び技能を習得させるために、目的や場面、状況に応じて、必要な情報を読み取る活動である「Take Action!」が設定されている。「For Self-study」では、学習者が抱くと予想される学びに関する悩みについて学び方を提案し、個に応じた学びを支援するといった工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、Lesson後の「Project」では、生徒自身がテーマを決定し、その後ペアやグループで協働しながら言語活動に取り組むことができる設定の工夫が見られる。</p>
<p>17 教 出</p>	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、身近な話題から社会的な話題まで発達段階に応じた題材を扱っている。インターネット記事、落語等、本文形態が多様で、さらに「Tips」では各技能を高めるコツを、「Useful Expressions」では日常の場面で使える表現を紹介する工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く知識及び技能を習得させるために、Partごとの「Think & Try!」では、会話の続きを考えながら演じさせ、単元末の「Read & Try!」では、学んだことを説明する発展的な学習ができるようになっている。各Partにおいて小学校で学んだ単語を表記しているといった工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、Lesson後の「Project」では、具体的で豊富な例に触れることで生徒自身が最適な表現を選択し、言語活動につなげることができる設定の工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「Goal」の活動では、「Part」の学習の振り返りを促すヒントが示されている。また、巻末には各学年に応じた英語の学び方ガイドを掲載するなど、学習者が主体的に学びを振り返り、繰り返し活用できるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く知識及び技能を習得させるために、帯活動に有効なRetellingが掲載され、写真・イラストやキーワードを用いて、自分の言葉で伝える活動が設定されている。各Unitでの表現に役立つ言語材料をまとめたActive Wordsがテーマごとに分類されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、Unit後の「You Can Do It!」では、ヒントを与え過ぎないことで生徒自身の思考を深めさせ、言語活動につなげていくという設定の工夫が見られる。</p>
61 啓林館	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各Unitの「Enjoy Chatting」から「Express Yourself」に向けて、スモールステップで様々な言語活動が設定されている。題材としては部活動や著名なスポーツ選手等、身近な話題や興味・関心の高い話題を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く知識及び技能を習得させるために、Unit Goalでは、技能の明確な目標が示されるとともに、目標に対する自己評価ができるような工夫がされている。Partごとに掲載されているEnjoy Chattingでは、即興でのやりとりを促す工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成するために、Unit後の「Project」では自分の考えを整理し、言語活動を行った後、ペアやグループで互いに助言したり議論したりする場面を設定するなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「Key Sentences」が本文と同ページに掲載されていることにより、本文中の重要表現を確認しやすくなっている。また、Round1、2で読解のポイントを絞って英文を読む活動が段階的に設定されており、生徒の読解力育成につながる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「デジタルコンテンツ」において、語句や本文の音声以外にも、クイズやKey Sentencesを解説する動画、復習のためのアニメなどが収録されており、生徒自身が既習事項を復習したり、表現活動をした際の際のサポートになるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習者用デジタル教科書については、表示されたページ画面に触れるだけで内容ごとに拡大表示されるとともに、「書き込み」画面を開くと、「リンクの追加」ができる機能が備えられ、個別学習に必要なデジタル資料を収集できるなどの学習者に配慮した工夫が見られる。</p> <p>(4) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、单元ごとにUnit Activityが設定され、学習した内容をもとに無理なく自分の意見や考えを話したり、書いたりすることができる工夫が見られる。</p>

<p>9 開隆堂</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「Scenes for Basic Dialogs」で、導入→理解→自己表現の流れが同じアイコンで示され、学習が進めやすくなっている。また、「英語早わかり」で文法事項をまとめており、その単元で学習した重要表現を再度確認、理解しやすくする工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、「とびら」に目標や、単元を通して身に付けるべき表現が示されており、生徒自身が確認し、見通しをもちながら学習に取り組めるようになっている。また、各ページの欄外にProgramにおける学習の進捗を示し、生徒の達成度を可視化する工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習者用デジタル教科書については、本文のシートだけでなく「学習者支援」のシートが設定され、精選された情報が大きく表示されたり、「ワークスペース」のアイコンから四線ノート等を活用することができたりするなどの、学習者に配慮した工夫が見られる。</p> <p>(4) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、各単元始めの「Scenes for Basic Dialogs」や、複数単元のまとめにある「Our Project」において、段階的に話したり書いたりする表現力を高めることができる工夫が見られる。</p>
<p>15 三省堂</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、「Small Talk」が設けられ、単元のテーマや題材に関した身近な事柄について、ペアで即興のやり取りができる工夫が見られる。また、どの単元も基本文確認→本文理解→自己表現の流れになっており、1つの表現に特化して学習できる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、小学校から中学校の学びへスムーズな接続が図られるように、「サイコロトーク」や豊富なイラストなどが掲載されている。また、巻末資料は、基本文のまとめが一覧で見開きに掲載されており、復習や言語活動に役立つような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習者用デジタル教科書については、表示画面に触れるだけで内容が拡大表示されるとともに、拡大した画面の左下には「New words」のカードが表示され、クリックすると新出英単語が音声で読み上げられ、繰り返し学習できるなどの学習者に配慮した工夫が見られる。</p> <p>(4) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、世界的に有名な物語やオンラインで楽しめる内容、日本文化の狂言を読み物教材にすることで、生徒が学習意欲をもって長文読解に取り組めるような工夫が見られる。</p>

<p>17 教 出</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、復習や定着の確認ができるよう「小学校での既習表現」が見やすく掲載されており、基本文導入後の練習として、すぐに表現活動に入ることができるように「Tool Kit」が設けられ、イラストを参考にしながらスムーズに進められるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、Lesson毎に設定されている「Grammar」が簡潔に説明され、内容や見た目も工夫されている。また、「デジタルコンテンツ」には、学習シートや対話のやり取りの様子が分かる動画等があり、生徒たちの学習サポートとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習者用デジタル教科書については、「WAP (word & phrases)」から語句の学習ができるほか、画面右端に「フラッシュカード」「思考ツール」等、多様な学習支援のアイコンが設けられ、自分の学習状況に応じて設定を変更できるなどの学習者に配慮した工夫が見られる。</p> <p>(4) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、Activities Plusにある具体的な質疑応答例や、Tipsシリーズの情報を聞き取るコツや会話を広げるコツ等により、表現力を身に付け、コミュニケーション活動に取り組める工夫が見られる。</p>
<p>38 光 村</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、表現力を磨くことができるように、各Unitにおいて登場人物になりきって台詞を考える「You' re the Writer!」のコーナーや、即興力を身に付けるために様々な質問が提示されている「Let' s Talk」を巻末資料として設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、とびらに、写真やイラストが多く掲載されており、これから学習する内容を想起させる工夫がある。また、巻末資料の「Active Words」には、会話に役立つ表現が豊富に掲載されており、表現活動の手助けとなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習者用デジタル教科書については、画面操作のためのアイコンが平易な言葉で表示され、操作が分かりやすくなっているとともに、サポートのアイコンを開くと、「見やすさ」「読みやすさ」「使いやすさ」を自分で設定することができるなどの学習者に配慮した工夫が見られる。</p> <p>(4) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、全てのUnitのStory Retellingが帯教材として設定されており、簡単な語句や文を使っの即興的な表現力の向上につながる工夫が見られる。</p>

<p>61 啓林館</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、巻末資料として基本文がUnit毎に見やすくまとめられていたり、文法のまとめを取り扱った「Focus on Form」では、コミュニケーション活動が設けられたりしており、文法構造を示すことに加えて実際に練習をしながら習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、活動に役立つ語彙や表現が、Word Boxに見やすい配列で掲載されている。また、Listen & Thinkのリスニング原稿が掲載されているので、確認や復習をする際に、原稿を見ながら、聞き取った内容を整理することができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習者用デジタル教科書については、画面操作のアイコンについての説明を「? (ヘルプ)」で一覧できるとともに、「暗記ペン」「バインダー」等が設けられ、英単語の暗記や自分の考えをバインダーで追加することができるなどの学習者に配慮した工夫が見られる。</p> <p>(4) 地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮すると、Project 1から3を通して、まとまった英文を読んで情報を正しくつかみ、グループで発表やプレゼンテーション、そしてディスカッションするという段階を経て、表現力を養う工夫が見られる。</p>
---------------	--

令和7年度使用
中学校用教科用図書研究報告書

道 徳

教科用図書宮崎採択地区協議会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

【観点Ⅰ】 学習指導要領に示された道徳科の目標を達成するために、構成・配列等についてどのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 道徳科の目標を達成するために、「いじめのない世界へ」「いのちを考える」の2つのユニット化されたテーマと、情報モラルを育む教材を、全学年同じ時期に配置することで、指導に最適な時期に重点的な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。
17 教 出	(1) 道徳科の目標を達成するために、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを設けることで、多様な側面から考えを深められるような構成・配列の工夫が見られるとともに、30本の本教材と5本の補助教材で柔軟なカリキュラム編成がしやすくなるような構成・配列の工夫が見られる。
38 光 村	(1) 道徳科の目標を達成するために、教材一つ一つを独立させるのではなく、全教材を9つのテーマでゆるやかにユニット化し、いくつかの教材が関わりながらテーマにアプローチすることで、多様な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。
116 日 文	(1) 道徳科の目標を達成するために、発達の段階に応じた学年ごとのテーマ「であう」「みつめる」「ひらく」の設定と、全学年共通で「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」の2つのテーマをユニット化することで、系統的に多様な学びができるような構成・配列の工夫が見られる。
224 学 研	(1) 道徳科の目標を達成するために、「いのち」を最重要テーマに設定し、「SDGs」「多様性」「キャリア」の3つのテーマをユニット化することで、よりよく生きることについて、多面的・多角的に考えを深められるような構成・配列の工夫が見られる。
232 あか図	(1) 道徳科の目標を達成するために、3学年を通して「いじめ」「情報モラル」「キャリア」「共生社会」について教材を連続させてユニット化することで、発達の段階に応じて継続的に学びを広げたり、深めたりすることができるような構成・配列の工夫が見られる。
233 日 科	(1) 道徳科の目標を達成するために、学習指導要領の内容項目ごとに教材を配列し、「いじめ・人権」「キャリア形成」等のテーマ別目次も用意することで、各学校の年間指導計画に応じてカリキュラム編成をしやすくするような構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

【観点2】 主体的に自分との関わりで考えたり、多面的・多角的に考えたりできるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、「考えよう」「見つけよう」で個人思考をさせ、「ぐっと深める」という補助発問で更に深く考えさせるとともに、「探究の対話」では、話し合いにより考えを深めさせる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、ポスターやグラフ等も用いることで、文章だけではなく、視覚的な面からも想像を広げさせ、読むことが苦手な生徒からも異なる立場や視点での多様な考えを引き出そうとする工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、絵本、写真、漫画なども取り入れながら、導入の問いで生徒の日常と教材をつなぎ、「学びの道しるべ」の3つの問いで生徒の考えを引き出し、段階的に深めさせようとする工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットや、様々な立場に立って考えたことを教科書に書き込んで整理し、意見の伝え合いを行うことにより、問題の本質に迫らせようとする工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、「考えよう」では2つの問いで学びのテーマに迫り、「チャレンジ 問いを立てよう」では、生徒自らが問いを立て、立てた問いの答えを探究することができるようにする工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「見方を変えて」では「考えよう」の発問とは切り口を変えた問いを設定する工夫が、「つなげよう」では更に深めさせたいテーマにつなげようとする工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、「考えてみよう」「自分に+1」では発問を1つに精選し、ねらいを焦点化して考えを深めさせ、「あすへのメッセージ」では生き方について自分を見つめ直させる工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、問題解決的な学習や体験的な学習に適している教材において、教材末に、「学びを深めよう」を設け、他者と話し合うことで、納得解について考えられるようにする工夫が見られる。</p>

224 学 研	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、「深めよう」を必要に応じて後半に配置し、考えを深める4つのステップ（見つけよう、考えよう、話し合おう、生き方につなげよう）で、授業の流れを具体的に提示する工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「クローズアップ」では教材の内容項目に即した資料や多様な意見、内容項目が異なる視点からの資料等を扱い、教材を軸に考えさせようとする工夫が見られる。</p>
232 あか図	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、教材に内容項目を記載しないことで、生徒が先入観なく自由な発想ができるようにし、最後に「自分との対話」で自分自身に問い直す発問を設けている工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、「マイ・プラス」では、役割演技や話し合いなどの活動を通して、生徒がいろいろな立場に立って想像したり考えたりすることができるような問いを設定している工夫が見られる。</p>
233 日 科	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びができるように、1学年では「自由」、2学年では「幸福」、3学年では「愛」というテーマを設定し、各教材では、「考えよう」「深めよう」の発問で、自分の考えを深めさせようとする工夫が見られる。</p> <p>(2) 多面的・多角的な考え方ができるように、付属のウェルビーイングカードを活用させ、それぞれの考えや思いを伝え合わせることで、生徒一人一人に「よりよい自分」を探究させようとする工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

【観点3】 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに、地域の願いや思い、生徒の実態等を考慮するなど、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳科の授業はこんな時間に」を設けることで、考え、議論する道徳を実現するための学習の流れが分かるように工夫がなされている。また、巻末の「自分の学びをふり返ろう」を使用することで、教材を通して印象に残った道徳的価値を再認識し、今後の生活に生かしていけるような工夫が見られる。生徒にとっての分かりやすさについては、全学年で第1教材と連携した「学習の流れ」を設け「つぶやき」欄や「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」の活用方法を具体的に示すことで、学習の流れをつかみやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、コラム「P l u s」を通して、役割演技や話し合いながら考える活動など、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫が見られる。</p>
17 教 出	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「さあ、道徳を始めよう！」を設け、話し合いを深めるためのポイントがつかめるような工夫がなされている。また、巻末の「よりよく生きる」ことについて、1年間の学習の集大成として表現する活動を取り入れることで、これまでの成長を実感し、これからの生き方について考えられるような工夫が見られる。生徒にとっての分かりやすさについては、「学びの道しるべ」において、パターン化された3つの問いを考えることで、生徒が、常に道徳的価値について段階的に学びを深めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、「どうすればよいか」という問いや葛藤をもたせる教材をもとに、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫が見られる。</p>

38 光 村	<p>(1) 学習効果や利便性については、第1教材「道徳の学習をはじめよう」を設け、3つのポイントを示し、道徳科を学ぶ心構えを意識することができるような工夫がなされている。また、最終教材「一年間の学びを振り返ろう」では、これまでの学びを振り返り、心の成長に気付くとともに、これからの生き方について考えることができるような工夫が見られる。生徒にとっての分かりやすさについては、「道徳で学ぶ22のキーワード」と「道徳 道案内」で、よりよい生き方やどんな自分になりたいかを示すことで、1年間の学びを見通しやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、答えのない問いについて、対話を通して自分の心を見つめ、広げる「やってみよう 今日の『てつがく』」を設けるなどの工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に「道徳科での学びを始めよう！」や「ミニ教材で考えてみよう」を設けることで、生徒にとって学びの見通しがもてるような工夫がなされている。また、別冊「道徳ノート」の「自分にプラスワン」で、この授業で学んだことを前向きに生かす見方・考え方を記入できるような工夫が見られる。生徒にとっての分かりやすさについては、学びのキーワード、ねらいに迫る発問、授業後の学びを活かす発問の3つの学習要素を全教材で設けることで、生徒が学習の流れをつかみやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、「考えてみよう」では、ねらいに迫るための発問例を示すことで、生徒が問いをもち、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫が見られる。</p>

224 学 研	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭「道徳科で学ぶこと考えること」の中で、自分の考えを表現するために思考ツールやICTを活用するなど、生徒が自ら関心をもって道徳の学びに向き合うための工夫がなされている。また、巻末の「未来への扉」では、印象に残った言葉や数年後の自分へのメッセージを記入するなどの枠があり、道徳の学びに向き合うための工夫がされている。生徒にとっての分かりやすさについては、各学年の第1教材には「深めよう」を設け、考えを深める4つのステップを示すことで、生徒が最初の授業で基本的な流れをつかみやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、特設ページ「クローズアップ」を通して、教材を軸に多面的・多角的に考える活動など、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫が見られる。</p>
232 あか図	<p>(1) 学習効果や利便性については、第1教材「道徳 はじまりの時間」を設け、どのようなことを学んでいくのかが分かるような工夫がなされている。また、巻末に「学習の記録」を設けることで、学期ごと及び1年間の学習の振り返りができるような工夫が見られる。生徒にとっての分かりやすさについては、学習活動がイメージできる発問、自分との対話を促す発問、授業のねらいを明確にする発問を全ての教材で設定することで、題材について考える道筋が明確になり、生徒が道徳の学びに向き合うための見通しをもちやすくするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え方について議論し、考えを深められるようにするために、各学年3つの教材に「マイ・プラス」を設置し、話合いや役割演技を取り入れて考える活動など、対話を通して自分の心を見つめ、広げるなどの工夫が見られる。</p>

<p>233 日 科</p>	<p>(1) 学習効果や利便性については、巻頭に『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』を設けることで、授業で大切にす るものを共有できるように工夫がなされている。また、巻末に ある26枚の「ウェルビーイングカード」を活用することで、 授業において自分の意見をもとに、対話しやすくするような 工夫が見られる。生徒にとっての分かりやすさについては、す べての教材に「考えよう」「深めよう」の2つの発問を示すこ とで学習活動が端的に分かるようにし、4つの視点ごとに4 コマ漫画を取り入れ、今後の学習に見通しをもてるような工 夫が見られる。</p> <p>(2) 地域の願いや思い、生徒の実態を考慮すると、生き方や考え 方について議論し、考えを深められるようにするために、「よ りよく生きようとする事」を模索する題材をもとに、「考え、 議論し、探究する」活動を通して自分の心を見つめ、広げるな どの工夫が見られる。</p>
----------------	--